

個別共同研究 2

関東大震災の都市復興過程とそのデータベース化、並びに資料収集

東京都慰霊堂保管資料の整理と分類方法

— 関東大震災および「東京大空襲」関係資料について —

高野 宏 康

TAKANO Hiroyasu

はじめに

東京都慰霊堂の収蔵庫には、多数の関東大震災および「東京大空襲」関係資料が保管されている。この関東大震災関係資料（以下、震災資料）は、一般市民からの寄贈品が多く含まれており、特定の蒐集者の意図を超えて震災後から現在に至るまで自然に集まり続けている資料であるという特徴をもつ。また、「東京大空襲」関係資料（以下、戦災資料）については、戦後の一時期に蒐集されたもので、種類・数量ともに震災資料よりかなり少ないが、震災資料とともに保管されていることが大きな特徴であり、いずれも貴重な資料群といえる。これらの資料群には、被災物、救援・復興関連資料、絵画、写真、書籍や雑誌、新聞などの文献資料、そして震災記念堂および復興記念館建設・運営に関する資料など、多種多様な資料が含まれている。

これらの資料群は、長期間、未整理状態で東京都慰霊堂収蔵庫（以下、慰霊堂収蔵庫）に保管された状態となっていたが、1992-93年に、当時の管理者である東京都北部公園緑地事務所の依頼により（株）トリガーグループ・ブレインファーム社（以下、BF社）が調査を実施し、整理・分類された後、大型のポリケースに収納して保管された。その際、資料リストと報告書が作成されているが、個別の資料名や数量は大まかに把握されたのみであり、内容の分析は行われていなかった（BF社調査⁽¹⁾）。そこで、2006年度に神奈川大学が21世紀COEプログラム「人類文化研究のための非文字資料の体系化」において写真資料に限定した調査を実施し（神大第1次調査）、それ以外の資料については、2008年度に神奈川大学非文字資料研究センター、2009-2010年度に関東大震災資料調査会が主体となって、学術的な調査を実施した（神大第2次調査⁽²⁾）。筆者は2008年度から調査にたずさわり、初年度の調査成果について概要を調査報告にまとめた。同報告書では、文献資料（書籍、雑誌、文書類）、絵画、ポスターなど、これまで個別に把握されていなかった資料について、収納ケース番号順の資料リストを掲載した。

本稿では、前回の調査報告では言及していなかった東京都慰霊堂収蔵庫保管資料の整理・分類方法の現状と課題を指摘し、震災資料の体系化の普遍的な方法論構築⁽³⁾に向けて、問題提起を行ってみたい。

なお、巻末に前回の調査報告書では対象外であった資料のリストを掲載した。前回のリストと合わせて東京都慰霊堂収蔵庫資料のほぼすべてを記載したことになる。本稿の内容に応じて適宜参照していただきたい。

I. 最初の東京都慰霊堂資料調査（1992-93）実施の背景とその内容

2008年7月に神大第2次調査を開始するにあたって、1992-93年にかけて実施されたBF社の調査報告書を確認した。資料は独自の整理・分類が行われた上で、大型ポリケースに収納されており、まったくの未整理状態ではないことがわかったが、文献資料や絵画、写真などは、大まかにしか把握されていなかったため、同年度はそれらの再調査を実施し、ケース番号順の資料リストを作成した。その後、2009-2010年度には震災記念物や大型の展示パネルなど、残りのすべての資料を対象とした調査を行ったところ、それらについてはBF社の調査報告はほぼ正確であることがわかった。また、資料の整理・分類方法についても、慰霊堂収蔵庫の資料全体を把握する上で一定の妥当性があることがわかったため、神大第2次調査を実施するにあたって部分的に修正するにとどめ、基本的にそのまま踏襲することにした。このように、BF社調査は、最初の慰霊堂収蔵庫調査として、現在の慰霊堂収蔵庫資料の状態を理解する上で、神大第2次調査初年度に認識していた以上に重要であることがわかった。そのため以下では、BF社による調査報告書をもとに、当時の慰霊堂収蔵庫資料調査実施の背景、調査前の状態、整理・分類方法について検討しておくことにする。⁽⁴⁾

慰霊堂収蔵庫の調査が実施されることになったきっかけは、1991年3月に北部公園緑地事務所が復興記念館の展示リニューアル計画立案にあたって、具体的な展示のテーマやストーリー、配置を検討するために、BF社に展示品・収蔵物等の調査を依頼したことによる。⁽⁵⁾ 調査は同年3月11日～25日にかけて実施された。現状写真集、収蔵品所在図、展示リストを作成し、それらに基づき「展示リニューアル計画」がまとめられ、同年4月末に納品された。当初は復興記念館の展示品のみを対象としていたが、横網町公園関係者からの情報により、慰霊堂にも資料が存在することがわかり、それら⁽⁶⁾についても調査を実施することになった。

資料は、慰霊堂内の1階北側室と2階（慰霊塔の第1層部分）に保管されていたが、状態は極めて悪く、「単に山積みして放置してある状況」であり、「絵画等の“紙物”はことごとく腐蝕」「金属類」「木材類」も腐蝕、老朽が進んでいる状態で何らかの処置は急務である⁽⁷⁾ことがわかった。「厚い埃と山積み状態の諸物をひもとく困難な作業」に加え、依頼された作業範囲、費用、時間を大きく超えると判断されたため、依頼者側である北部公園緑地事務所との調整により、慰霊堂内の資料調査は復興記念館で実施したような個々の資料の悉皆調査ではなく、「どの場所に」「どういうものが」「どういう状況で」「どのくらい」存在するのをおおまかに把握することを「調査の範囲、程度」として行われた。そして、翌1992年度に、あらためて「慰霊堂収蔵物調査」が実施されることになった。

「慰霊堂収蔵物調査」は、当時のBF社への資料の調査依頼内容に「公開・使用」の段階が明確に存在していなかったため、将来的に活用される状況が発生した際に速やかに対応できるように、収蔵物の場所、内容、数量等を把握すること、すなわち「基本資料収蔵台帳」づくりを目的として実施された。⁽⁸⁾ 1992年8月19日・9月11日の打合せ・協議では、詳細な資料リストの作成と整理を目的とすることが決定されたが、データベースの作成や保管設備の整備については、予算的・時間的制約もあることから見送られることになった。BF社側からの提案には、収蔵棚の新設、空調機器の導入などが挙げられていたが、いずれもこの時は実現していない。

実施された調査の手順・内容は、報告書の「慰霊堂内遺品類」の更なる調査にあたっての基本的

作業フロー（案）」に示されている⁽⁹⁾。まず、「調査の範囲、程度及び分類カテゴリーを踏まえて山積している遺品類を仕分け」し、並行して「写真撮影」「分類「NO」付」が行われた。その時設定された分類カテゴリーにしたがって「再梱包」が行われ、その際、資料の状態によって汚れの除去、保護処理が実施された。そして、「梱包するケースの検討（サイズ、素材）」、「再収納にあたっての場所の選定」、「収納環境の整備」、「慰霊堂2階の清掃・換気」、「収蔵物リストの作成作業」が順次行われた。当初の構想としては、「図書化とデータベース化」が盛り込まれていたが、実現はしていない。最終的な目標として、「“平和”と“安全”の希求に対する貢献の一助としての展開、運用」「“語り部”の物証としての保存・保管」が提案されていた。以上のように、当時の調査時には、資料状態を改善するさまざまな案が盛り込まれていたことがわかる。

II. 資料の整理と分類方法

資料を整理・分類しデータとして記録するフォーマットとしては、「資料調査カード」が作成されている⁽¹⁰⁾。設定書式は以下のとおりである。サイズはA4で、資料ひとまとまりごとに1枚に記載されている。まとめ方の基準は明記されていないため、書籍・雑誌などの多数存在する資料については分類規準が不明確となっているが、おそらく資料の種類や、元の保管場所などに即してまとめられていると思われる。記入項目は、「整理番号」「名称」「寸法」「数量」「資料年代」「特記事項（資料の状態、由来・変遷等）」「収納場所（ケース番号）」「種別」「分類（目的・用途 等）」「備考」となっており、左下は資料写真を添付する場所となっている。資料名については、「名称」欄に資料の種類（「書籍」「絵画」など）が記入されていることが多い。補足的にカッコ内に個別資料名が記載されているものもあるが、ほとんどは「特記事項」欄に個別資料名が記載されている。「数量」が多いものは、概数（「約」と表記）となっており、個別資料名は数点程度しか記載されていない。そのため、神大第2次調査の際にそれらを1点ずつ確認した。以上の点はこの資料リストを参照する際、特に注意が必要なところである。「種別」「分類（目的・用途 等）」欄については、独自の方法で分類がなされており、その分類をもとに「整理番号」が設定されている。分類項目は若干わかりづらいものがあり、適切な分類方法といえるか疑問に思われる部分があるため、以下で検討しておくことにする。

まず、「種別」欄は、「1. 震災」「2. 戦災」「3. その他（不明）」に区分されている。3については、震災記念堂および復興記念館建設の事業主体である「東京震災記念事業協会」関連資料を中心に、一部に「復興公園」関連のパフレットなどが含まれている。「分類（目的・用途 等）」欄は、「震災・戦災の被災物」「震災・戦災の記録資料」「記念館資料他」に区分されており、さらに8つの項目が設置されている。項目はそれぞれ、下記のとおりである。

【資料調査カード・設定書式】

被災物

1. 生活（衣類装身具、日用品生活道具、住居住宅、装飾品、美術工芸、趣味・娯楽、写真手紙、証書、金銭……）
2. 仕事（事務器、文房具、商農工業諸道具……）

3. 産業（工業製品，産業機械，資（素）材物資……）
4. 公共施設・建造物（公共施設・建造物，建築装飾……）

記録資料

5. 震災に関する記録資料
 - 震災対策・復興（諸道具，救援医療道具，チラシ，ポスター，人名カード……）
 - 震災記録作品（絵画，彫刻，作文画集，写真……）
 - 文献資料（出版物，報告書類，新聞，記録データ）
6. 戦災に関する記録資料
 - 戦災対策・復興（諸道具，救援医療道具，チラシ，ポスター，人名カード……）
 - 戦災記録作品（絵画，彫刻，作文画集，写真……）
 - 文献資料（出版物，報告書類，新聞，記録データ）

その他

7. 記念館関連資料（成立・運営・管理に関する書類，写真，グラフィックパネル……）
8. その他

一見してわかるように，これらの分類・項目には問題点が多い．たとえば，「1. 生活」欄の「日用品生活道具」と「2. 仕事」欄の「文房具」は厳密に区別するのは困難であるし（「筆記具」は1に分類されている），2と3の区別も曖昧である．4で「公共施設」と「建造物」を区分することは事実上，ほとんど意味がない．「記録資料」として5と6を「震災」「戦災」に区分しているが，「震災」と「戦災」は「種別」欄で明らかであり，実際に資料を確認する際には「対策・復興」「記録作品」「文献資料」の区分が重要となってくるため，これらが区分されていた方がわかりやすいと思われる．

震災資料の分類方法については，関東大震災後の資料収集に際しても独自の分類がなされている．たとえば，東京震災記念事業協会の事業報告書には，復興記念館開館時の陳列品リストが掲載されており，⁽¹¹⁾そこでは「被災物」は「震災記念物」と表記され，材質（金属，木材，ガラス等）によってさらに下位区分がなされているほか，「救援」「復興」「地震研究」の区分が強調されていることが特徴である．これらの資料は震災資料として体系的な分類方法を検討する必要があると思われるが，慰霊堂収蔵庫資料については最初に資料調査を実施したBF社がすべての資料をまとめて整理・分類したため，現時点では全面的に新たな分類項目を設定しなおすことは困難である．本稿末尾に掲載した資料リストでは，BF社の項目を基本的に踏襲し，明らかに問題がある部分についてのみ修正を加えることにした．以上を踏まえ，神大第2次調査時に資料全体を再調査して検討した結果，以下の点を修正した．

【修正後の分類】

被災物

- 4 「建造物」

記録資料

- 5 「救援・復興」

6 「記録作品」

7 「文献資料」

その他

8 「東京震災記念事業協会関連資料」

9 「その他」

4については、「公共施設」と「建造物」を区別することに意味がないため、「建造物」に統合した。5, 6, 7については、「震災」と「戦災」の区分にするのではなく、5「救援・復興」6「記録作品」7「文献資料」とした。この点については「被害」「救援」「復興」という分類が明快であるが、1～4および6～7との関連性がわかりにくくなってしまったため採用しなかった。5は「対策」より「救援」が適切と思われるので変更した。8は「記念館関連資料」では、「震災記念堂」と「復興記念館」の建設に関連する資料であることが不明確となるので、両施設の建設事業主体である「東京震災記念事業協会関連資料」と表記することにした。数量の算出方法についても、さまざまな単位が混在しているため（「個」「束」「台」等）、再検討が必要と思われるが、全体の概数を示すことを重視していると思われるBF社の方針に従うこととした。そのため、一覧に記載されている数値はあくまで一つの目安である。

「収蔵物調査カード」の「整理番号」は、資料の「種別」「分類項目」「分類番号」に即して設定されている。表記方法はBF社の報告書によると以下のとおりである。⁽¹³⁾

1. 現状の資料保管場所に則り、それを単位とすること
→ 所在（慰霊堂1階／2階） ※表記：慰霊堂1階＝慰1 慰霊堂2階＝慰2
2. 復興記念館の展示内容区分を反映していること
→ 種別（震災／戦災／その他）
3. 資料の背景、由来・成立状況等からくる資料としての違いを明確化すること
→ 分類項目（被災物／震災・戦災の記録資料／記念館に関する資料）
4. 上記を受けて、用途により分類するが、全資料の内容傾向を踏まえたものとする
→ 分類番号（分類1～9）

【分類番号の表記例】

慰	1	—	1	1	—	0	0	1
	↓		↓	↓		↓		↓
	所在		種別	分類		資料番号		

※上記の場合、元位置が「慰霊堂1階」、種別は「震災」、分類は「生活」、資料番号「001」の資料を示している。

実際の「収蔵物調査カード」および「収蔵物分類リスト」では、「所在」は省略され、元位置が慰霊堂1階であったものについては、「備考」欄に記載されている（リストでは※）。

また、重要なのは、BF社の調査時に廃棄対象物の確認・判断が検討されていたことである⁽¹⁴⁾。報告書では、「“収蔵”“廃棄”の選別については、全ての収蔵物の保存を基本としたい」としつつ、「その上で、判断の必要と思われるものについては、1ヶ所にまとめて置き、後日北部（公園緑地事務所）担当者がチェック判断したい」と記載されている。調査の結果、“廃棄対象物”の確認・判断は以下のようにまとめられている。

- 額縁類（中身は無く、額のみとなったもの）
- ガラス板及び破片（額に付いていたものと思われる）
- 木箱・段ボール箱（これまで収蔵物が入っていたもの）
- 復興記念館展示備品（壊れたキャプションたて・壊れた展示順路・受付名板等）
- プリキ筒（これまで図面等が入っていたもの）

これらはいずれも収蔵品とは言えない展示関連物であると言ってよいだろう。しかし、以上とは別に、「“記録調査”作業遂行にあたって、今後予測できる考慮事項の抽出及び確認」（1992年9月16日）には、収蔵物の“収蔵維持”か“廃棄”かの判断が必要な場合についての基準が記載されていることに注意した。ここで“廃棄”の場合として挙げられているのは、「腐蝕を極めた額（絵画）類」「腐蝕を極めた展示パネル類」「腐蝕を極めた図書類・衣類等」（主に紙モノ、布モノが多い）である。また、“廃棄”の方法として、1. ゴミとして廃棄処分する場合、2. 公園敷地内等にまとめて埋める場合、3. 一ヶ所にまとめて置く場合（廃棄の収蔵物のみまとめて置く場合）の3つが挙げられている。1は廃棄処分する収蔵物の量、大きさにより“処分費用”が必要とされている。ただし、“都の所有物”であること、“遺品”を含むという先進的・道徳的観点を考え合わせると、ゴミとしての廃棄は適当かどうか判断つきかねるとしている。「打ち合わせ記録」によると、北部公園緑地事務所の判断で、上記のものについては廃棄処分して構わないと判断されている。以上の記述から、「全ての収蔵物の保存を基本としたい」としつつも、実際は保存状態の悪い収蔵物が廃棄されていた可能性が高いことがわかる。

以上の点は、拙稿（2009）で指摘した、復興記念館の資料点数の減少とBF社調査とは関連があると思われるが、これ以上詳しいことは不明である。また、収蔵物類については、全て保存する方法とされているが、保存状態が悪く、補修・修復の不可能なものについては、“調査対象外物品”としてまとめて保管しておくこととされている。これらについては、調査カードは作成しなくてよいが、収納箱単位でその内容・状態がわかるよう写真撮影し、提出することになっていた。また、パネル・額類（現場にて指定された）については、補足写真としてその1枚1枚を撮影提出することになっていた⁽¹⁵⁾。

調査後の資料の保管については、BF社側から今後の管理を考慮し収蔵物を2階へ移して保管することが提案され、北部公園緑地事務所は、1階の収蔵物であったことが何らかの形で記録に残るようになることを条件にその提案を了承している。BF社から最終提出物として、収蔵物リスト（「収蔵物調査カード」2部。巻末に“パネル写真”“調査対象外物品”が添付）と報告書（「収蔵物分類リスト」付。1式）が北部公園緑地事務所へ納品された。以上が、第1次神大調査（2006年）実施前の慰

霊堂収蔵庫保管資料の状態である。

まとめと今後の課題

最後に、これまでのまとめと今後の課題を指摘しておきたい。まず、最初の東京都慰霊堂収蔵庫調査である、BF社調査（1992-93年）の実施の背景とその内容については、以下のとおりである。もともと、管理者である北部公園緑地事務所からの依頼は復興記念館の展示リニューアルにあたっての事前調査であり、慰霊堂収蔵庫の資料は調査対象ではなく、復興記念館の後に追加調査として実施されたが、結局、展示リニューアルは実現しなかった。収蔵庫の調査はそのときが最初で、それ以前は慰霊堂内の1階北側室と2階に収蔵物が未整理状態で置かれていたが、BF社調査後にすべて2階に保管されることになった。調査開始時には、将来的な資料の活用のために、保管方法・設備および公開にあたってのデータベース化などのさまざまな構想が提案されていたが、結果的に実現には至らなかった。

また、資料の整理・分類方法については、「資料調査カード」が作成され、独自の項目を設定し、全ての資料が分類されているが、文献・雑誌などは個別資料名や数量が大まかに把握されたのみで、内容の分析は行われなかった。分類方法については、項目が不相当と思われる部分がいくつかみられたため、本稿に掲載した資料リストでは必要に応じて修正を行ったが、全面的に新たな分類項目を設定し直すことは現時点では困難なため、BF社の項目を基本的には踏襲した資料リストを掲載した。当初、資料は全て保存する方針であったが、事実上、保存状態の悪いものについては廃棄された可能性が高いことがわかった。

今後の課題として、以下の点を指摘しておきたい。東京都慰霊堂収蔵庫資料は、BF社調査、神大第1次、第2次調査を経て、すべての資料をリスト化し、一部の文献資料についてはマイクロフィルム・デジタルデータにすることができたが、厳密な資料目録化およびデータベース化には至っていない。今後はそれらを作成することで、資料の公開・検索が可能となるようにしていく必要がある。東京都慰霊堂収蔵庫資料は、おそらく関東大震災関連資料が最も多数集積している資料群である。震災資料の整理・分類方法は、現時点では確立されておらず、普遍的な方法論を構築していく必要があるが、その際に関東大震災に関するさまざまな資料が含まれている東京都慰霊堂収蔵庫資料の整理・分類方法は参考になると思われる⁽¹⁶⁾。また、戦災資料については、蒐集の背景および経緯を検討し、慰霊・展示のあり方との関連から考察が必要となると思われる⁽¹⁷⁾。以上の点については今後の課題として取り組んでいきたい。

※本稿は、朝日新聞文化財団文化財保護助成事業「東京都慰霊堂保管・関東大震災関係資料の整理・保存・データベース化推進プロジェクト」の成果の一部である。

※謝辞：本稿の作成にあたって、(財)東京都慰霊協会および東京都東部公園緑地事務所の皆様方にご協力をいただいた。この場を借りて感謝申し上げます。

注

- (1) ブレインファーム社による最初の東京都慰霊堂収蔵庫保管資料調査については、報告書（ブレインファーム、1993）にまとめられている。同報告書には資料の蒐集過程については言及されていない。
- (2) 神大第1次調査以前の東京都慰霊堂についての研究として、東京空襲と戦災死没者慰霊制度を分析した山本（2001）がある。神奈川大学および関東大震災資料調査会による東京都慰霊堂収蔵庫資料調査については、以下の文献を参照。神大第1次調査（2006年度）：北原（2007）、神大第2次調査（2008年度）：拙稿（2009）。以上の調査成果を踏まえて東京都慰霊堂および復興記念館の成立過程および「震災の記憶」の変遷と展示について考察した論文として、拙稿（2010）がある。東京都慰霊堂収蔵庫資料についての研究として、写真に関しては北原（2007）、絵巻に関しては北原（2009）、避難者カードに関しては北原（2011）がある。関東大震災資料調査会（代表＝北原糸子）は、朝日新聞文化財団の文化財保護助成事業の事業主体であり、2009年度から神奈川大学の調査を引き継いだ。
- (3) 震災に関連する資料の総体を「震災資料」として概念化し、その分類や体系化の必要性を提唱している先行研究として、板垣（2010）がある。同文献は阪神・淡路大震災関連資料を対象としており、関東大震災についてはこれまでに震災資料としての分類や体系化は行われていない。
- (4) BF社の調査報告書にはページ番号が記載されていないため、以後、引用箇所は同報告書の該当部分の見出しを記載した。
- (5) BF社（1993）「横網町公園「復興記念館」“展示品調査”の経緯と更なる調査にあたっての（案）」。
- (6) 同上。
- (7) 同上。以下、資料状況については同報告書同箇所にもとづく。
- (8) BF社（1993）「打合せ・協議記録簿」（1992年8月19日、9月11日）。
- (9) BF社（1993）「“慰霊堂内遺品類”の更なる調査にあたっての基本的作業フロー（案）」。
- (10) BF社（1993）「設定書式（資料調査カード）」。資料カードはファイル5巻にまとめられている。以下、「資料調査カード」についての記述は同箇所を参照した。
- (11) 東京震災記念事業協会（1932）、参照。
- (12) これらの分類も基準が曖昧で、現在の学問的水準からすると必ずしも適切な分類であるとは言えない。また、板垣、前掲書の阪神・淡路大震災の震災資料の分類については、「一次資料」「二次資料」の分類がなされているが、おおまかな分類となっている。震災資料の体系化および分類方法の確立は、今後の課題であるといえよう。
- (13) 注（10）に同じ。
- (14) BF社「打合せ協議記録簿」（1992年12月9日、1993年1月）、同「記録調査作業遂行にあたって予測できる考慮事項②」。以下、「廃棄」関連の記述は同箇所の記述にもとづく。
- (15) 収蔵物のうち、美術梱包された“坐像”（ハクイ・シュクセイ像の片方）は、慰霊堂収蔵物であると言いきれないことと、保存の面で現在の梱包のまま保管したほうが良いという理由で、調査対象から外されている。
- (16) 関東大震災関連資料の分類については、これまで文献資料を中心とした目録として、倉林義正編（1982-5）などがある。東京都公文書館が所蔵している資料については、東京都編（1996）がある。筆者は、震災資料の概念化および、文献資料、物質資料、絵画等の記録作品等を含めた総合的な資料の体系化・分類方法を構築する必要があると考えている。
- (17) 戦災資料は、東京都公園課の井下清が中心となって、戦後の一時期に集中的に蒐集が行われたとされるが（朝日新聞、1952年8月31日付の記事参照）、井下の構想や経緯についてはよくわかっていない。

参考文献

ブレインファーム（1993）「横網町公園 慰霊堂収蔵物調査報告書」（資料カード全5巻および調査報告書）、東京都慰霊協会所蔵。

- 北原糸子（2007）「関東大震災の写真（東京都慰霊堂保管）について」『立命館大学 21 世紀 COE プログラム・神奈川大学 21 世紀 COE プログラム研究推進会議 ジョイントワークショップ「歴史災害と都市——京都・東京を中心に——」報告書』。
- 北原糸子（2009）「描かれた関東大震災——絵巻・版画・素描——」『年報 非文字資料研究』第 6 号。
- 北原糸子（2011）「東京市政調査会作成の関東大震災避難者カードについて」『京都歴史災害研究』第 12 号。
- 財団法人東京都慰霊協会（1982）『戦災歿死者改葬事業始末記 関係者座談会』財団法人東京都慰霊協会。
- 高野宏康（2009）「東京都慰霊堂収蔵庫保管・関東大震災関係資料について」『年報 非文字資料研究』第 5 号。
- 高野宏康（2010）「『震災の記憶』の変遷と展示——復興記念館および東京都慰霊堂収蔵・関東大震災関係資料を中心に——」『年報 非文字資料研究』第 6 号。
- 東京震災記念事業協会（1932）『被服廠跡——東京震災記念事業協会事業報告書』東京震災記念事業協会。
- 山本唯人（2001）「「東京都慰霊堂」の現在——東京空襲と戦災死没者慰霊制度の創設」『歴史評論』第 616 号。
- 倉林義正編（1982-5）『関東大震災（1923）関連主要文献目録（その 1～4）』，文部省科学研究費・自然災害特別研究（1）昭和 56 年度「地震災害の社会・経済的影響に関する数量経済史的比較研究——関東大震災を例として」研究代表者・倉林義正（課題番号：56020012）。
- 東京都編（1996）『関東大震災と情報 東京都公文書館所蔵関東大震災関係資料目録』
- 東京都公立図書館郷土資料研究会・昭和 58 年度東京都公立図書館職員研究大会第 1 部会編（1984）『関東大震災に関する資料所在目録』東京都公立図書館郷土資料研究会。

東京都慰霊堂収蔵庫資料リスト

◎凡例

- ・この資料リストは、1992-93年に東京都慰霊堂収蔵庫の資料調査を実施したブレインファーム社（以下BF社）が作成した収蔵物リスト（1993年3月）に基づき、同社が作成した収蔵物調査カードの情報を加え、2008-2010年度に神奈川大学および関東大震災資料調査会が実施した調査に基づき、修正を加えたものである。
- ・この資料リストは、整理番号順のリストである。「記録作品」「文献資料」は多数のため、概要のみで全ての個別資料データを記載していないが、これは資料全体の概要を示すことを優先したBF社の方針による。
- ・筆者が以前作成した資料リスト（2009年）は、現在の収納ケース番号順のリストである。こちらには「記録作品」「文献資料」等の個別資料データの詳細が記載されているが、「被災物」は記載していない。本稿のリストと合わせて、東京都慰霊堂収蔵庫全体の資料リストとなっている。
- ・「整理 No」の表記の仕方は以下のとおりである。

種別：1. 震災 2. 戦災 3. その他（東京震災記念事業協会関連）

分類：1. 生活 2. 仕事 3. 産業 4. 建造物 5. 救援・復興 6. 記録作品

7. 文献資料 8. 東京震災記念事業協会関連資料 9. その他

1	1	—	001
↓	↓		↓
種別	分類		資料番号

- ・「寸法」「数量」は、厳密な計測が困難なものについては概数を記載したものが含まれている（焼損物、調査カードなど）。そのため、「合計」や「総計」はあくまで一定の目安となる数値である。
- ・「備考」には、資料の状態（汚れ・破損など）、主要な資料名、その他、資料に関する各種情報を記載した。
- ・「元位置」は、BF社による整理以前の資料保管場所を記載した。「1階」＝東京都慰霊堂1階、空欄＝東京都慰霊堂2階の資料であったことを意味する。
- ・「ケース No」は、BF社報告書に記載されている番号を記載した。現在の収納ケースの内容と異なっているものがあるが、これらはBF社調査後から神大1次調査までのあいだに変更したものである。ケース No ラベルが劣化により剥離したり、復興記念館の展示に使用されたことなどにより変更されたと思われる。
- ・巻末に、神大調査時にマイクロフィルム化およびデジタルデータ化した資料リストを掲載した（表3）。これらは復興記念館で紙焼き冊子を閲覧可能となっている。

表1 東京都慰霊堂収蔵庫資料

分類項目	内 容	震 災	戦 災	合 計	
被災物	1. 生 活	日用品, 衣類, 装身具, 金銭類	5,224	1,826	7,050
	2. 仕 事	文具, 諸道具類	231	28	259
	3. 産 業	工業製品, 産業機械, 各種資材類	134	4	138
	4. 建 造 物	建造物の一部, 建築装飾類	141	0	141
記録資料	5. 救援・復興	救援道具・物資, 医療具, 調査カード類	624	11	635
	6. 記録作品	絵画, 彫刻, 文集, 写真類	1,750	111	1,861
	7. 文献資料	出版物, 新聞, 報告書類, 記録データ類	1,703	16	1,719
9. そ の 他		224	22	246	
合 計		10,031	2,018	12,049	
その他	8. 東京震災記念事業協会関連資料（成立, 運営, 管理に関する書類・展示パネル等）			1,068	
	9. その他			551	

総 計 13,668

※「収蔵物分類リスト」（ブレインファーム社, 1993年）に基づき作成。分類項目, 整理 No, 各種データの表記等, 必要に応じて修正を加えた。

※寸法および数量は概数を含む（上記リスト記載データ）。

表2 東京都慰霊堂収蔵庫資料リスト

整理No	種 別	分 類	名 称	寸 法(約 mm)	数 量	備 考	元位置	ケースNo
11-001	震 災	生 活	陶器 (小皿)	H 20~35×φ 100×D	13	破損・汚れあり		68
11-002	震 災	〃	陶器 (小皿 他)	H 20~40×φ 110×D	25	破損・汚れあり		68
11-003	震 災	〃	陶器 (小皿 他)	H 30~60×φ 60~110×D	11	破損・汚れあり		69
11-004	震 災	〃	陶器 (小皿)	H 30~60×φ 50~150×D	26	破損・汚れ・焼跡あり		70
11-005	震 災	〃	陶器 (小皿)	φ 100×W×D	8	焼跡あり 中央に家紋や模様あり	1階	77
11-006	震 災	〃	陶器 (小皿・椀 他)	H 20~100×φ 70~130×D	13	破損・汚れあり		68
11-007	震 災	〃	陶器 (皿)	H 20~30×φ 150~230×D	8	破損・汚れあり		68
11-008	震 災	〃	陶器 (皿)	H 20~30×φ 210×D	8	汚れ・破損・焼跡あり		71
11-009	震 災	〃	陶器 (皿 他)	H 20~30×φ 70~140×D	6	破損・汚れ・焼跡あり		71
11-010	震 災	〃	陶器 (皿)	φ 80×W×D	5	焼跡あり	1階	77
11-011	震 災	〃	陶器 (皿)	φ 120×W×D	6	破損・汚れ・焼跡あり	1階	77
11-012	震 災	〃	陶器 (小皿・椀 他)	H 20~70×φ 80~160×D	11	破損・汚れあり		73
11-013	震 災	〃	陶器 (皿・水差し)	H 160×φ 150×D	4	焼跡あり	1階	78
11-014	震 災	〃	陶器 (湯呑 他)	H 30~50×φ 50~80×D	24	破損・汚れあり		70
11-015	震 災	〃	陶器 (小皿・湯呑 他)	H 30×φ 65×D	21	焼跡あり	1階	77
11-016	震 災	〃	陶器 (飯茶碗・湯呑 他)	H 50~100×φ 50~110×D	12	破損・汚れあり		69
11-017	震 災	〃	陶器 (湯呑・壺 他)	H 60~150×φ 50~150×D	7	破損・汚れあり		72
11-018	震 災	〃	陶器 (小鉢)	H 75×φ 140×D	3	焼跡あり	1階	77
11-019	震 災	〃	陶器 (小鉢)	H 55×φ 105×D	4	破損あり 激しい焼跡あり	1階	77
11-020	震 災	〃	陶器 (小鉢・飯茶碗)	H 45×φ 80×D	8	焼跡あり	1階	77
11-021	震 災	〃	陶器 (小鉢・水差し? 他)	H 20~70×φ 60~160×D	14	破損・汚れあり		69
11-022	震 災	〃	陶器 (急須類)	H 30~110×φ 80~130×D	9	破損・汚れあり		72
11-023	震 災	〃	陶器 (急須 他)	H 45×φ 80×D	7	焼跡あり	1階	78
11-024	震 災	〃	陶器 (徳利類)	H 140~240×φ 80~120×D	9	破損・汚れあり		72
11-025	震 災	〃	陶器 (猪口 他)	H 20~40×φ 60×D	5	破損・汚れあり		72
11-026	震 災	〃	陶器 (花瓶・壺 他)	H 90×φ 40~130×D	14	破損・汚れあり		73
11-027	震 災	〃	陶器 (花瓶・壺 他)	H 200~320×φ 130~230×D	5	破損・汚れ・焼跡あり		74
11-028	震 災	〃	陶器 (水入れ?)	H 20~60×φ 60~120×D	7	破損・汚れあり 水入れまたは線香立てか		70

整理No	種別	分類	名称	寸法(約 mm)	数量	備考	元位置	ケースNo
11-029	震災	生活	陶器(茶道具・皿・れんげ)	H 10~30×φ20~60×D	11	破損・汚れあり		70
11-030	震災	〃	陶器(醤油差し・花器他)	H 33~55×φ25~75×D	14	破損・汚れ・焼跡あり	1階	78
11-031	震災	〃	陶器(茶碗 他)	H 65×φ110×D	7	破損・汚れ・焼跡あり	1階	77
11-032	震災	〃	陶器(花器?)	H 20~150×φ70~160×D	3	汚れあり 花器の一部か		73
11-033	震災	〃	陶器(花器・水差し・七輪他)	H 110~230×φ100~210×D	8	焼跡あり	1階	79
11-034	震災	〃	陶器(鉢 他)	H 100~160×φ180~270×D	4	焼跡あり 一部溶解・接着		75
11-035	震災	〃	陶器(祭事用器)	H 20~60×φ30~100×D	9	破損・汚れあり 神棚・仏壇用具		73
11-036	震災	〃	陶器(素焼器)	H 80×φ190×D	2	焼跡あり 祭祀用具	1階	78
11-037	震災	〃	しゃもじ	H 230~360×φ80~120×D	3	汚れあり 木製しゃもじ		70
11-038	震災	〃	鉄製器具(釜)	H 100~230×φ170~330×D	4	破損あり さびによる腐食が著しい	1階	97 98
11-039	震災	〃	鉄製器具(釜 他)	H 110~250×φ200~350×D	4	破損あり さびによる腐食が著しい		173 174
11-040	震災	〃	金属製の大型(釜?)	H 350×φ450×D	1	破損あり さびによる腐食が著しい		160
11-041	震災	〃	金属製の大型(釜の一部?)	H 160×φ440×D	1	破損あり さびによる腐食が著しい 底が破損して欠落		161
11-042	震災	〃	鉄製器(大型コンロ?)	H 360×φ400×D	1	破損あり さびによる腐食が著しい		155
11-043	震災	〃	鉄製器(大型コンロ?)	H 210~250×φ310~500×D	2	破損あり さびによる腐食が著しい		156 ① ②
11-044	震災	〃	鉄製器具(鉄瓶 他)	H 60~170×φ65~240×D	14	破損・焼跡あり さびによる腐食が著しい	1階	91 92 93
11-045	震災	〃	鉄製器具(鉄瓶)	H 130~210×φ160~250×D	4	破損あり さびによる腐食が著しい		171 172
11-046	震災	〃	鉄製器具(茶釜)	H 130×φ210×D	3	破損あり さびによる腐食が著しい	1階	90
11-047	震災	〃	鉄製器具(茶釜・風炉)	H 200×φ320×D	2	破損あり さびによる腐食が著しい	1階	99
11-048	震災	〃	鉄製器具(風炉 他)	H 220×φ320×D	4	破損あり さびによる腐食が著しい 器具内に灰が残存	1階	100
11-049	震災	〃	鉄製器具(五徳・十能他)	H 115×φ240×D	5	破損あり さびによる腐食が著しい	1階	101
11-050	震災	〃	鉄製器具(火起し用網他)	H 140×φ190×D	3	さびによる腐食が著しい	1階	101
11-051	震災	〃	鉄製器具(おまる・金属板他)	H 250×φ340×D	3	さびによる腐食が著しい	1階	102
11-052	震災	〃	鉄製器具(用途不明)	H 190×φ260×D	9	破損あり さびによる腐食が著しい	1階	94
11-053	震災	〃	鉄製器具(用途不明)	H 130×φ220×D	10	さびによる腐食が著しい 溶解あり	1階	95
11-054	震災	〃	鉄製器具(壺・茶釜 他)	H 180×φ230×D	3	破損あり さびによる腐食が著しい	1階	96
11-055	震災	〃	鉄製器具(用途不明)	H 70~280×φ70~320×D	6	破損あり さびによる腐食が著しい		178
11-056	震災	〃	ガラス瓶 他	H 80~270×φ30~120×D	30(約)	破損・汚れ・焼跡・溶解あり		182
11-057	震災	〃	ガラス瓶・コップ 他	H 260×φ70×D	5	焼跡・溶解あり	1階	136
11-058	震災	〃	ガラス類	H 50×φ150×D 100	4	焼跡・溶解あり	1階	136
11-059	震災	〃	ガラス(破片)	H 80×φ160×D 110	3	溶解あり	1階	136
11-060	震災	〃	置物(七福神像)	H 80~180×φ40~100×D	4	破損・焼跡あり		76
11-061	震災	〃	置物(神仏像)	H 90~160×φ50~110×D	9	破損・焼跡あり		76
11-062	震災	〃	置物(招き猫・面・埴輪他)	H 80~220×φ×D	19	破損・色の剥落あり		76
11-063	震災	〃	置物(人形・猫 他)	H 75~235×φ40~2.36×D	6	破損・焼跡あり	1階	80
11-064	震災	〃	置物(仏像 他)	H 360×φ100×D	6	破損・焼跡・溶解あり	1階	109
11-065	震災	〃	置物(人形・神仏像 他)	H 70~270×φ70~140×D	4	破損・腐食あり		183
11-066	震災	〃	仏像	H 400×φ170×D	7	破損・汚れあり 金属製 何かに取り付けられていたものらしい	1階	108
11-067	震災	〃	仏像	H 50~300×φ20~120×D	18	破損あり さびによる腐食が著しい 金属製		184
11-068	震災	〃	石像(仏像・狛犬 等)	H 200×φ90×D	4	破損・汚れあり 石像	1階	117

東京都慰霊堂保管資料の整理と分類方法

整理No	種別	分類	名称	寸法(約 mm)	数量	備考	元位置	ケースNo
11-069	震災	生活	置物(カエル, 鳥)	H 160×φ200×D 260	3	破損有		183
11-070	震災	〃	宝石類(装飾品の一部)	H×φ5~10×D	70(約)	装飾品の一部 ダイヤ・ルビー・水晶など(複製品か)		81
11-071	震災	〃	御守・数珠	H 50~100×φ50~100×D	5	破損・劣化あり		81
11-072	震災	〃	仏具(線香立て 他)	H 80×φ100×D	8	破損・焼跡・溶解あり	1階	80
11-073	震災	〃	仏具(盃・ろうソク立て他)	H 20~100×φ30~80×D 35	13	腐食あり 保存状態は良好		87
11-074	震災	〃	仏具(位牌・数珠 他)	H 155×φ85×D 35	13	破損・汚れあり	1階	105
11-075	震災	〃	剥製用義眼	H 5×φ85×D	11	剥製用義眼 箱に収納 寄贈者情報記載(「震災記念品 東京市神田区五軒町十四番地 坂本喜一」)		85
11-076	震災	〃	財布・定期券入れ 他	H 60~110×φ110~170×D	12	汚れあり 劣化が著しい		81
11-077	震災	〃	財布 他	H 110×φ80×D	5	破損・汚れあり	1階	119
11-078	震災	〃	小物類(煙草・ペンケース・くし 等)	H 100×φ50×D	12	汚れ・焼跡あり 劣化が著しい		81
11-079	震災	〃	革製品(靴・靴 等)	H 142~280×φ215~230×D	5	汚れあり 劣化が著しい		81
11-080	震災	〃	布製品(手さげ袋・巾着)	H 130~250×φ210~300×D	3	劣化が著しい		82
11-081	震災	〃	帽子類(学生帽・頭巾 等)	H 250~480×φ200~330×D	3	汚れあり 劣化が著しい		82
11-082	震災	〃	衣類(半被・浴衣・晴着 他)	H 1370×φ1280×D	8	破損あり 保存状態が悪い		82
11-083	震災	〃	布類(手拭い・帯 他)	H 240×φ650×D	10	汚れ破損あり		82
11-084	震災	〃	衣類(上着・シャツ)	H 700×φ850×D	2	破損・汚れが著しい		82
11-085	震災	〃	照明器具(小型ランプ)	H 400×φ80×D	4	空き缶や竹を利用した手作りの照明器具の一部		85
11-086	震災	〃	提灯・鉛筆削り 他	H 100×φ200×D	4	劣化が著しい 鉛筆削りは破損あり		85
11-087	震災	〃	籠・郵便受け	H 180~350×φ120~160×D	2	破損・汚れあり 竹製の籠 木製の郵便受け		185
11-088	震災	〃	携帯用ナイフ・スプーン	H 70×φ15×D	7	汚れあり さびによる劣化が著しい		85
11-089	震災	〃	筆記用具(万年筆・シャープペン 等)	H 130×φ15×D	40(約)	破損・汚れが著しい		86
11-090	震災	〃	印鑑類	H 50~100×φ10~15×D	50(約)	汚れによる劣化が著しい		86
11-091	震災	〃	眼鏡類	H 30~50×φ100~150×D	30(約)	破損・汚れあり		86
11-092	震災	〃	時計(腕時計・懐中時計 等)	H×φ15~50×D	50(約)	破損・劣化が著しい		86
11-093	震災	〃	ライター	H 55×φ35×D	4	腐食による劣化が著しい		86
11-094	震災	〃	勲章・メダル	H 70×φ30×D	8	汚れあり 保存状態は良好		87
11-095	震災	〃	刀剣の柄	H×φ30~80×D	9	腐食による劣化が著しい		87
11-096	震災	〃	鍵	H 20~50×φ×D	25(約)	さびによる腐食が著しい 木札に「豊田家 本郷別宅錠前」と記載		87
11-097	震災	〃	手鏡	H 345×φ245×D	4	さびによる腐食が著しい 焼跡・溶解あり	1階	90
11-098	震災	〃	貯金箱	H 105×φ85×D	2	さびによる腐食が著しい 焼跡・溶解あり	1階	103
11-099	震災	〃	置時計・ハーモニカ	H 35~115×φ185~210×D	2	腐食による劣化が著しい 置時計に「大正十五年乃至昭和二年家計調査記念」と彫刻あり		86
11-100	震災	〃	時計・蓄音器の一部	H 120×φ270×D	3	さびによる腐食が著しい 破損あり	1階	107
11-101	震災	〃	時計	H 420×φ×D	2	さびによる腐食が著しい 破損あり		150
11-102	震災	〃	カメラ・双眼鏡	H 85×φ140×D	3	金属部分の腐食が著しい 破損あり		86
11-103	震災	〃	写真機	H 80×φ170×D	6	さびによる腐食が著しい 破損あり	1階	110
11-104	震災	〃	時計?	H 235×φ150×D 150	1	さびによる腐食が著しい 破損あり	1階	110
11-105	震災	〃	印鑑・煙管・分銅・箱 他	H 60×φ160×D 80	7	さび・汚れが著しい 破損あり	1階	110
11-106	震災	〃	ポストの錠	H 160×φ120×D	5	破損が著しい	1階	128
11-107	震災	〃	鉄製器具(一部)	H 245×φ170×D	3	さびによる腐食・破損が著しい 溶解あり	1階	124
11-108	震災	〃	兜	H 300×φ220×D	4	さびによる腐食・破損が著しい	1階	121 122

整理No	種別	分類	名称	寸法(約 mm)	数量	備考	元位置	ケースNo
11-109	震災	生活	鉄製器具(火鉢の覆い部分?)	H 250×φ390×D 180	1	さびによる腐食が著しい 破損あり		151
11-110	震災	〃	煙草道具(煙管・煙草盆他)	H 130×φ240×D 180	3	破損・汚れあり		174
11-111	震災	〃	バイオリンケース	H 110×φ770×D 240	1	汚れ・傷みあり ケースのみ		193
11-112	震災	〃	椅子	H 840×φ410×D 480	1	汚れあり 保存状態は良好 木製の椅子 折りたたみ可能		194
11-113	震災	〃	化石の標本	H 25~50×φ50~120×D	8 (約)	破損あり		185
11-114	震災	〃	修業証書・保険証券・貯金通帳 他	H 230×φ95×D	100 (約)	破損あり	1階	120
11-115	震災	〃	通帳・証書 他	H 230×φ95×D	100 (約)	破損・汚れあり 金属製の箱入り	1階	120
11-116	震災	〃	古銭	H ×φ25×D (1枚サイズ)	1000 (約)	腐食が著しい 溶解あり 「寛永通宝」等を台紙に文字状に並べたもの(“震災復興記念”を表現)		87
11-117	震災	〃	紙幣・古銭 他	H 10~40×φ30~120×D	3000 (約)	破損が著しい 十銭コイン・百円札など		181
12-001	震災	仕事	ハサミ・バリカン・スプーン・小刀	H 130~170×φ10~40×D	11	さびが著しい 破損あり		87
12-002	震災	〃	ハサミ・バリカン・ハンマー・シュエキーパー 等	H 100~220×φ20~60×D	8	さびによる腐食が著しい 溶解あり	1階	104
12-003	震災	〃	ハサミ 等	H 130~220×φ30~60×D	10	さびによる腐食が著しい 破損あり		179
12-004	震災	〃	ペンチ・ハンマー・メジャー 等	H 180~360×φ20~70×D	15 (約)	さびによる腐食が著しい		179
12-005	震災	〃	アイロン	H 90×φ240×D 140	2	さびによる腐食が著しい 破損あり	1階	104
12-006	震災	〃	ミシン	H 200×φ370×D 180	2	さびによる腐食が著しい 破損あり		148
12-007	震災	〃	顕微鏡	H 290×φ80×D 100	15	破損・さびが著しい 溶解あり		88
12-008	震災	〃	実験器具類	H 160~200×φ100~130×D	50 (約)	さびによる腐食が著しい 破損あり		89
12-009	震災	〃	実験器具類	H 120~200×φ50~85×D	10 (約)	さびによる腐食が著しい 破損あり		89
12-010	震災	〃	鐘 等	H 80~160×φ50~120×D	8	さびによる腐食が著しい	1階	90
12-011	震災	〃	調理用器具	H 110×W 250×D	2	さびによる腐食が著しい 破損あり	1階	103
12-012	震災	〃	工具(バーナー?)	H 240×φ150×D	1	破損・汚れあり	1階	103
12-013	震災	〃	双眼鏡・レンズ	H 115×φ105×D	5	さびによる腐食が著しい 破損あり	1階	106
12-014	震災	〃	レンズ	H×φ50~100×D 10~40	3	破損・汚れ・さびが著しい		185
12-015	震災	〃	印刷の原版	H 200×φ120×D	1	破損が著しい 溶解して凝固	1階	107
12-016	震災	〃	印刷の原版	H 150×φ120×D	23 (約)	さびによる腐食が著しい 焼跡あり	1階	128
12-017	震災	〃	扇風機	H 200×φ330×D	1	さびによる腐食が著しい 焼跡あり	1階	106
12-018	震災	〃	扇風機(モーター部分)	H 320×φ180×D	2	さびによる腐食が著しい		149
12-019	震災	〃	分銅 等	H 80~140×φ60~100×D	5	さびによる腐食が著しい 破損あり		179
12-020	震災	〃	スコップ 等	H 230~330×φ140~210×D	3	さびによる腐食が著しい 破損あり		179
12-021	震災	〃	機械類	H 330×φ280×D	3	さびによる腐食が著しい 破損あり		149
12-022	震災	〃	鉄製器具・機械	H 50~320×W 190~320×D 20~150	12	さびによる腐食が著しい 破損あり		151 152
12-023	震災	〃	金属製の大器	H 310×φ510×D	1	さびによる腐食が著しい 破損あり		159
12-024	震災	〃	鑑	H 240×φ250×D	2	さびによる腐食が著しい 鉄製	1階	112
12-025	震災	〃	刀剣類	H 900×φ20~70×D	15 (約)	さびによる腐食が著しい 破損あり		169
12-026	震災	〃	刀剣類	H 560~1200×W 20~100×D	15 (約)	さびによる腐食が著しい		169
12-027	震災	〃	鉄製器具(鳶口・錫杖?)	H 420~920×W×D	2	さびによる腐食が著しい		170
12-028	震災	〃	旗竿・ラッパ	H 2000×W 500×D 500	2	汚れ・さびあり 旗竿部分にラッパが添付		189
12-029	震災	〃	日章旗	H 2050×W 1100×D	1	破損・汚れが著しい 竹の棒に日章旗が添付		190
12-030	震災	〃	自転車	H 800×W 1400×D	1	さびによる腐食が著しい 破損あり 展示解説パネルあり		196
13-001	震災	産業	石・ガラス類	H 140×W 4800×D 130	3	焼跡・溶解あり	1階	131
13-002	震災	〃	石・ガラス類	H 140×W 4800×D 130	2	焼跡・溶解あり	1階	132
13-003	震災	〃	金属製品	H 180×W 300×D 230	3	さびによる腐食が著しい 溶解あり	1階	133
13-004	震災	〃	金属製品	H 70×W 250×D 150	4	さびによる腐食が著しい 溶解あり	1階	134

東京都慰霊堂保管資料の整理と分類方法

整理No	種別	分類	名称	寸法(約 mm)	数量	備考	元位置	ケースNo
13-005	震災	産業	金属製品(大学記章・ねじ・ガラス・釘)	H 40×W 170×D 140	6	溶解・凝固あり	1階	135
13-006	震災	〃	金属製品(釘等)	H 30×W 210×D 130	5	溶解・凝固あり	1階	135
13-007	震災	〃	金属製品(釘等)	H 100×W 100~300×D	30(約)	さびによる腐食が著しい 溶解・凝固あり		137 138
13-008	震災	〃	金属製品	H 300×W 350×D	15(約)	腐食が著しい 溶解・凝固あり		139
13-009	震災	〃	岩石(標本)	H 20~90×W 20~110×D	20(約)	破片		185
13-010	震災	〃	金属片	H 40×W 220×D	1	溶解あり 木箱入り 寄贈者による説明文あり		186
13-011	震災	〃	標本類	H 350×W 400×D 290	1	溶解したガラス片の標本 木箱入り 破損・汚れあり		186
13-012	震災	〃	金属製品	H 150×W 500×D	3	溶解した金属片 さびによる腐食が著しい 破損あり	1階	124
13-013	震災	〃	機械類	H 380×W 200×D	1	溶解した機械類 さびによる腐食が著しい 破損あり	1階	125
13-014	震災	〃	機械類	H 360×W 300×D	2	溶解した機械類 さびによる腐食が著しい 破損あり	1階	126
13-015	震災	〃	機械類	H 380×W 220×D	1	溶解した機械類 さびによる腐食が著しい 破損あり	1階	127
13-016	震災	〃	機械類(モーター)	H 200~350×W 140~400×D 300~540	3	さびによる腐食あり 破損あり	1階	143
13-017	震災	〃	機械類(一部)	H 390×W 440×D 150	2	さびによる腐食が著しい 破損あり		144
13-018	震災	〃	機械類(船用スクリュー)	H 890×W 380×D 300	1	さびによる腐食が著しい		145
13-019	震災	〃	機械類	H 980×W 300×D	1	さびによる腐食が著しい 用途不明		146
13-020	震災	〃	機械類	H 380×φ 470×D	1	さびによる腐食が著しい 用途不明		157
13-021	震災	〃	機械類(照明器具の一部)	H 100×φ 470×D	1	照明器具の脚部分が 文字記載(「CENTURY LIGHTING EQUIPMENT INC. NEW YORK」)		158
13-022	震災	〃	金属製品(熔解物)	H 430~740×W 400~650×D	2	溶解・凝固した金属製品 さびによる腐食が著しい	1階	165
13-023	震災	〃	レンガ	H 40×W 235×D 125	20	破損あり		175
13-024	震災	〃	ホース	φ 150×W 7000×D	2	金属製のコイルに衣地を貼り付けたもの さびによる腐食が著しい		164① ②
13-025	震災	〃	金属棒(機械の一部)	H 1170×W 1130×D	1	さびによる腐食が著しい		167
13-026	震災	〃	消火ポンプ	H 760×W 1170×D	1	さび・汚れあり 文字記載(「大石式消火噴霧兼用ポンプ」)		153
13-027	震災	〃	ポンペ	H 1460×W 600×D	1	キャプションあり(「関東大震災」火災で破裂したポンペ 東京・本所区 藤井商店)		168
13-028	震災	〃	金属製品(機械の一部)	H 285×W 1130×D 30	1	さびによる腐食が著しい		198
14-001	震災	建造物	建築物装飾(シャンデリアの付け根部分?)	H 200×W 1180×D	3	さびによる腐食が著しい 破損あり	1階	105
14-002	震災	〃	建築物装飾(ニコライ堂の装飾)	H 130~260×W 50~300×D	6	金属製の室内装飾品 文字記載(「ニコライ堂の扉ハンドル 柵」) さびによる腐食が著しい	1階	106
14-003	震災	〃	建築物装飾	H 65×W 175×D	7	鳥の形をした装飾品 さびによる腐食が著しい 破損あり	1階	107
14-004	震災	〃	建築物装飾	H 325×W 100×D 100	3	金属製の装飾品 さびによる腐食が著しい	1階	112
14-005	震災	〃	建築物装飾	H 20~100×W 100~200×D 100~200	10(約)	建築装飾の一部 破損・汚れが著しい		183
14-006	震災	〃	建築物装飾	H 170×W 500×D	1	建築装飾の一部 溶解した金属物	1階	123
14-007	震災	〃	金属製品(鉄製の柵)	H 330×W 410×D	1	さびによる腐食が著しい 破損あり	1階	128
14-008	震災	〃	鉄板	H 160×W 400×D	3	扇型の鉄板 彫刻模様あり(「松」) さびによる腐食が著しい		178
14-009	震災	〃	表札	H 740×W 150×D	1	金属製 さびによる腐食あり 文字記載(「明治三十七年十一月戊」)		176
14-010	震災	〃	表札文字板	H 150×W 150×D	6	金属製 さびによる腐食あり		177
14-011	震災	〃	瓦	φ 110~375×W×D	8	家紋入り 破損あり	1階	113
14-012	震災	〃	瓦	φ 180×W×D	3	家紋入り 破損あり		177
14-013	震災	〃	建築物装飾(一部)	H 300×φ 200×D	2	石製 破損あり 木製の下敷き付き	1階	114
14-014	震災	〃	建築物(一部)	H 780×φ 450×D	1	金属製 破損あり		147

整理No	種別	分類	名称	寸法(約 mm)	数量	備考	元位置	ケースNo
14-015	震災	建造物	石像(犬)	H 260×W 560×D 330	1	石製の犬の像 破損あり		142
14-016	震災	〃	大理石(破片)	H 150×W 150×D	10	溶解・凝固あり 破損あり	1階	115
14-017	震災	〃	大理石(破片)	H 460×W 700×D	1	文字記載(「横浜正金銀行」) 破損あり	1階	116
14-018	震災	〃	石片	H 300×W 320×D	2	文字記載(「抗火石 蛸松月」) 破損あり	1階	117
14-019	震災	〃	石片	H 160×W 170×D	3	人工的に加工した石片 破損あり	1階	118
14-020	震災	〃	石片	H 400×W 400×D 60	3	破損あり	1階	118
14-021	震災	〃	石製品(溶解物)	H 200×W 300×D 250	5	溶解した石製品 釘が付着	1階	129
14-022	震災	〃	石製品(溶解物)	H 100×W 350×D 230	5	溶解した石製品 鉄の棒が付着	1階	130
14-023	震災	〃	石材(建造物の一部)	H 300~450×W 200~300×D	15(約)			140
14-024	震災	〃	石製品(溶解物)	H 200~350×W 200~400×D	15(約)	溶解した石製品		141
14-025	震災	〃	装飾ガラス板	H 305×W 230×D	4	“桜”と“流水”の図柄が描かれたガラス 2枚は破損状態		85
14-026	震災	〃	ガラス製品	H 600×W 600×D	5	溶解したガラス製品 鉄の棒が付着 破損あり		162① ②
14-027	震災	〃	金属製品・セメントボード	H 500×W 700×D	6	網状の金属物にセメントが付着 さびによる腐食が著しい		163① ②
14-028	震災	〃	窓枠	H 930×W 740×D	1	金属製の窓枠 さびによる腐食が著しい		166
14-029	震災	〃	窓枠	H 1200×W 880×D	1	さびによる腐食が著しい 汚れあり		199
14-030	震災	〃	木材(一部)	H 1130×W 390×D 170	1	建造物の一部		203
14-031	震災	〃	木片(一部)	H 1130×W 850×D 300	3	焼跡あり 炭状になっている		204
14-032	震災	〃	木材(一部)	H 1300×W 130×D 130	2	破損・汚れあり		205
14-033	震災	〃	木材	H 1570×W 225×D 135	1	建造物の一部 破損・汚れあり		206
14-034	震災	〃	木材	φ 130×W 700×D	1	建造物の一部		207
14-035	震災	〃	松の木(首尾の松の焼骸)	H 790×W 2560×D	1	解説パネルあり(「首尾の松の焼骸」) 損傷が著しい		200
15-001	震災	救復 復興	のぼり・旗類(衣類募集他)	H 500~2870×W 700~800×D	12	「東京地方罹災同胞ノメ衣類募集 門司基督教青年会」「大震災記念大会々場」他 破損が著しい		82
15-002	震災	〃	バケツ	H 400×φ 300×D	1	文字記載(「U.S. MED. DEPT」) さびによる腐食あり 破損あり		154
15-003	震災	〃	担架	H 2270×W 600×D 160	1	文字記載(「U.S. MED. DEPT」) 赤十字マークあり		209
15-004	震災	〃	担架	H 1900×W 450×D 210	1	破損・汚れあり		191
15-005	震災	〃	松葉杖	H 1400×W 200×D	2	木製の松葉杖 汚れあり		192
15-006	震災	〃	車椅子	H 1300×W 730×D 850	1	木製の車イス 破損・汚れ・さびあり		195
15-007	震災	〃	金属製の棒	φ 50×W 1750~3660×D	6	震災死者を火葬にする際に使用されたもの(東京都慰霊協会職員 島根竹次郎氏に確認)		197
15-008	震災	〃	ポスター(海外での震災救援)	H 620×W 470×D	1	「JAPAN DAY THURSDAY, SEPTEMBER 13 HELP JAPAN」		23
15-009	震災	〃	ポスター(協定会臨時病院他)	H 275~590×W 195~470×D	4	「協定会臨時病院」他 破損あり ※国立歴史民俗博物館へ貸出中		23
15-010	震災	〃	ポスター(市立図書館復興案内)	H 315×W 625×D	1	「焼跡に復興せる市立図書館」(標語記載「読書は復興の糧」)		23
15-011	震災	〃	ポスター(人口調査 他)	H 530×W 260×D	3	「震災地人口調査」(東京市役所作成) 他 破損あり		23
15-012	震災	〃	ポスター(震災記念物蒐集他)	H 320×W 630×D	15	「震災記念物蒐集」「土地区画整理当選標語」他		23
15-013	震災	〃	ポスター(震災記念日)	H 790×W 530×D	1	「大震災記念日」(震災後1周年を記念して発行されたポスター)		23
15-014	震災	〃	ポスター(地震予防 他)	H 550×W 400×D	6	「地震之用心、火之用心」(火災予防を呼びかけるポスター) 他 破損あり 保存状態良好		23
15-015	震災	〃	ポスター(被災地一覧)	H 635×W 440×D	2	「帝都大震災一覧」他(印刷:広瀬正雄)		23
15-016	震災	〃	貼り紙(尋ね人・消息)	H 300×W 240×D	9	震災直後、尋ね人や消息を知らせる貼り紙 台紙に添付 手書き 汚れあり		25
15-017	震災	〃	貼り紙(復興事業)	H 520×W 690×D	2	「灰燼は敷地の盛土に」(復興事業のポスター) 台紙に添付 汚れあり		236

東京都慰霊堂保管資料の整理と分類方法

整理No	種別	分類	名称	寸法(約 mm)	数量	備考	元位置	ケースNo
15-018	震災	救復	パネルボード(関東戒厳司令部の貼り紙 他)	H 900~1200×W 600~900×D	2	震災後のちらしやポスター等をパネルに添付したものの 破損・変色あり		107 108
15-019	震災	〃	切手・ポストカード	H 400×W 630×D	1	「震災直後に於ける応急切手とはがき」切手9シート(1シート20枚)とポストカード2枚が台紙に添付		21
15-020	震災	〃	証明書類	H 320×W 210×D	2	「身分証明書 新潟県古志郡黒條村役場」「臨時収容家屋使用延期許可書 東京市役所」台紙に添付 ※国立歴史民俗博物館へ貸出中	1階	67
15-021	震災	〃	証明書	H 260×W 210×D (封筒)	6	罹災証明書等が封筒に収納		25
15-022	震災	〃	避難者氏名カード	H 75×W 115×D (カード)	22 (箱)	震災の避難者カード(氏名 住所 避難場所等が記載) 木製ケース入り(1箱約800枚)	1階	63-66
15-023	震災	〃	消息カード	H 75×W 115×D (カード)	2 (箱)	震災の消息不明者カード(氏名 住所が記載) 木箱入り(1箱800枚)		186
15-024	震災	〃	震災死亡調査表	H 690×W 370×D 315 (木箱)	4 (台)	木製箱入り(1台4箱収納)「震災死亡者調査表」(氏名 性別 住所等が記載)		202 ①-④
15-025	震災	〃	処方箋	H 130×W 100×D	500 (約)	処方箋を紐で綴じたもの(震災後の救援活動で使用) 破損が著しい	1階	67
15-026	震災	〃	名簿(遺族芳名録)	H 200×W 280×D 20	1	『遺族芳名録』(法要時の芳名帳 遺族名 戒名 俗名 年齢等記載 箱入り)		22
15-027	震災	〃	名簿(分骨名簿)	H 240×W 170×D 20	6	『分骨名簿 本所被服廠跡公園課作成』 保存状態が悪い ※国立歴史民俗博物館へ貸出中		22
15-028	震災	〃	感謝状	H 370×W 270×D	6	関東大震災時の功績に対する感謝状(東京市長 中村是公より贈呈)		22
15-029	震災	〃	感謝状	H 490×W 610×D	1	関東大震災時の功績に対する感謝状(内閣総理大臣 齋藤實から東京市役所へ贈呈)		126
15-030	震災	〃	冊子(名簿・書類)	H 230×W 160×D	3	「被服廠跡震災記念供養塔建設寄付名簿」(未記入)「清浦首相=呈スルノ書(草案)」		42
16-001	震災	記録作品	朱印帳(奉納御納経)	H 300×W 220×D 50	1	和綴じ冊子『奉納 四国西国秩父阪東 各御霊場巡礼納経』桐箱に収納		22
16-002	震災	〃	卷子本(経文)	H 300×W 6000×D 50	1	経文・被災者名が記載された巻物 桐箱に収納 作者・由来等不明		22
16-003	震災	〃	軸物(震災の記念品)	H 2000×W 300×D	1	各地からの慰問品カードを寄せ貼りした巻物		22
16-004	震災	〃	経典	H 1300×W 330×D	3	震災犠牲者供養のため寄せられた経典 郵送用の筒(切手添付)あり		22
16-005	震災	〃	軸物	H 730×W 300×D	2	僧侶・観音が描かれた巻物 破損・劣化が著しい		22
16-006	震災	〃	絵巻物	H 330×W 5000×D	1	萱原黄丘作「東都大震災過眼録 巻之三」 破損あり H22年度修復		23
16-007	震災	〃	石碑の拓本	H 630~1575×W 310~520×D	2	震災犠牲者供養のものか		85
16-008	震災	〃	軸物	H 2100×W 600×D	2	「震災歌」「復興歌」の漢詩の巻物		213
16-009	震災	〃	石碑	H 260×W 270×D 200	2	「大震災惨死者霊 弔」(表)「大正十二年九月一日」(裏)	1階	109
16-010	震災	〃	仏像のパネル	H 900×W 1360×D	1	木製の小型仏像を添付したパネル 文字記載「本所高等小学校 昭和九年九月一日 奉納」		230
16-011	震災	〃	紙芝居	H 280×W 390×D	23	関東大震災をストーリーとした紙芝居 「関東大震災 日本教育紙芝居協会」と記載 裏面に語り原稿添付 ※国立歴史民俗博物館へ貸出中		24
16-012	震災	〃	画集(小学生作品)	H 320×W 425×D	1	小学生による画集 「大正震災記念画帳 東京市本横小学校」と記載 ※国立歴史民俗博物館へ貸出中		24
16-013	震災	〃	絵画(小学生作品)	H 270×W 390×D	12	小学生による絵画 厚紙の台紙に添付 画集から抜け落ちたものか		24
16-014	震災	〃	絵画(鉛筆画)	H 470×W 650×D	19	震災時の街並みや人々の様子を描いた絵画 作者等は不明		24
16-015	震災	〃	絵画(物語絵)	H 260×W 375×D	39	震災時の様子を描いた絵画 厚紙の台紙に添付 説明記載		23
16-016	震災	〃	絵画(物語絵)	H 420×W 600×D	7	震災時の様子を描いた絵画 厚紙の台紙に添付 説明記載	1階	62
16-017	震災	〃	絵画(油彩画)	H 250×W 310×D	1	タイトルなし(震災後の状況) 木製額入り		235
16-018	震災	〃	絵画(油彩画)	H 2000×W 900×D	3	タイトルなし(浅草十二階 他)		221
16-019	震災	〃	絵画(油彩画)	H 1600×W 1700×D	3	タイトルなし(震災時の動物園 他)		222

整理No	種別	分類	名称	寸法(約 mm)	数量	備考	元位置	ケースNo
16-020	震災	記録作品	絵画(油彩画)	H 800×W 1000×D	12	タイトルなし(震災時の列車 他)		127-138
16-021	震災	〃	額装書状・絵画	H 500×W 1200×D	14	震災に関する書状・絵画・データ等を木枠額装したもの 以前の復興記念館展示パネル「摂政宮御沙汰」他		112-125
16-022	震災	〃	木工作品	H 150×W 90×D 80	3	横川小学校生徒による木製の工作(理科の実験器具) 損傷が著しい		24
16-023	震災	〃	冊子(小学校での震災体験)	H 280~400×W 200~260×D	4	小学校での震災の様子をまとめた冊子『富士尋常小学校震災類焼願末記 訓導 和光松衛』『震災の反映 東京市西町尋常小学校』他		24
16-024	震災	〃	文集(小学生感想文集)	H 240×W 170×D 20	20	東京市京橋高等小学校生徒による震災の感想文集		24
16-025	震災	〃	雑誌・文集(震災関連)	H 260×W 185×D	3	関東大震災関連の雑誌・文集『帝都 横浜 川崎 復興記念号 下巻』(現代通信社 1928年)『大正むさしあふみ』(報知新聞社出版部 1924年) 他	1階	60
16-026	震災	〃	小冊子(震災関連)	H 190×W 130×D	8	東京市役所発行の震災記念刊行物『震災の思ひ出』(1927年)『大正大震災の思ひ出』(1941年)		42
16-027	震災	〃	写真(死傷者 その1)	H 130×W 170×D	300	(約) 震災時の死傷者の様子を撮影した被害状況写真		15
16-028	震災	〃	写真(死傷者 その2)	H 90×W 140×D	60	(約) 震災時の死傷者の様子を撮影した被害状況写真(その1よりサイズやや小)		15
16-029	震災	〃	写真(死傷者 その3)	H 80×W 130×D	80	(約) 震災時の死傷者の様子を撮影した被害状況写真(その2よりサイズやや小)		15
16-030	震災	〃	写真(死傷者 その4)	H 125×W 170×D	60	(約) 震災時の死傷者の様子を撮影した被害状況写真		15
16-031	震災	〃	写真(震災後の被害)	H 120×W 160×D	60	(約) 震災直後の街の様子(倒壊した建物等)を撮影した被害状況写真		15
16-032	震災	〃	写真ボード(震災後の復興)	H 300×W 400×D	11	台紙に添付		16
16-033	震災	〃	写真ボード(震災後の被害)	H 170×W 215×D	100	(約) 台紙に添付 撮影場所記載		16
16-034	震災	〃	写真ボード(震災後の被害)	H 170×W 215×D	90	(約) 台紙に添付		16
16-035	震災	〃	写真ボード(震災後の被害)	H 270×W 210×D	160	(約) 台紙の上半分に添付 下半分に撮影場所・寄贈者名等が記載		16
16-036	震災	〃	写真(震災後の被害・生活)	H 450×W 560×D	22	大判写真		18
16-037	震災	〃	写真(震災後の生活 津波被害)	H 210~130×W 280~170×D	50	(約) 津波の被害状況(三陸地方 朝日新聞社から送られたもの)の写真		18
16-038	震災	〃	写真(復興建築)	H 300×W 400×D	6	4枚1組で台紙に添付 建物の名称等の記載あり		18
16-039	震災	〃	写真(震災の被害)	H 270×W 400×D	75	(約) 大判写真		18
16-040	震災	〃	写真(震災の被害)	H 430×W 540×D	100	(約) 大判写真		19
16-041	震災	〃	写真(震災の被害)	H 430×W 540×D	60	(約) 大判写真		19
16-042	震災	〃	写真(震災の被害)	H 430×W 540×D	40	(約) 大判写真		19
16-043	震災	〃	写真パネル(震災後の被害・生活)	H 335×W 435×D	5	額装写真 簡潔な説明文あり「被服廠跡の遺骨の山」(寄贈者 滝田ナヲ氏) 他	1階	62
16-044	震災	〃	写真(震災後の被害・生活)	H 520×W 690×D	50	(約) 台紙に添付		233
16-045	震災	〃	写真パネル(震災後の被害)	H 595×W 775×D	39	額装写真(ガラス入り) タイトルあり		34-72
16-046	震災	〃	写真パネル(震災後の被害)	H 850×W 560×D	15	額装写真(ガラス入り) タイトルあり		73-87
16-047	震災	〃	写真パネル(震災後の被害)	H 630×W 820×D	10	額装写真(ガラス入り) タイトルあり		88-97
16-048	震災	〃	写真パネル(震災後の被害)	H 1200×W 930×D	2	木枠展示パネル タイトルあり(「震災直後ノ実況」 他)		109 110
16-049	震災	〃	写真帳(震災後の被害・救済・復興 復興記念館資料パネル写真)	H 320×W 230×D 30	7	震災時の被害、救済、復興の状況を撮影した写真(4冊) 復興記念館資料パネル写真(3冊) 1枚ずつ台紙に添付 1冊約40~150枚 タイトル・説明あり		21
16-050	震災	〃	写真帳(震災後の死傷者・被害)	H 300~160×W 400~210×D 250~255	11	アルバムに添付『関東大震災記念』 他		17

東京都慰霊堂保管資料の整理と分類方法

整理No	種別	分類	名称	寸法(約 mm)	数量	備考	元位置	ケースNo
16-051	震災	記録作品	写真集(震災後の被害・復興)	H 280×W 405×D	5	『大正震災志写真帖』(内務省社会局 1926年) 他	1階	61
16-052	震災	〃	ポストカード(震災後の被害)	H 375×W 295×D	70(約)	1シート8枚(未裁断)		15
16-053	震災	〃	ポストカード(震災後の被害・復興)	H 140×W 100×D	50(約)	『復興の大東京』『大震大火前後の東京』(松本幸盛堂発行)等 復興記念館の販売物か 袋に収納されたものあり		21
17-001	震災	文献資料	新聞	H 550×W 420×D	500(約)	震災直後の状況を報じる新聞 劣化が著しい		9
17-002	震災	〃	グラビア雑誌	H 400×W 300×D	30(約)	震災後の被害を写真で紹介する新聞社発行のグラビア雑誌 『東京大震災写真画報』他		42
17-003	震災	〃	新聞(英字新聞)	H 550×W 420×D	130(約)	震災の被害状況を報じる新聞 数部ずつ封筒に収納		11
17-004	震災	〃	新聞スクラップ帳	H 600×W 400×D 200	10	震災の被害を伝える新聞を紐で綴じたもの 表紙に寄贈者名が記載 『震災直後の諸新聞』他		12 13
17-005	震災	〃	公報紙	H 260×W 190×D	11	『東京市公報』タブロイド版(1928年12月13日号, 1931年月7日号他) 『震災復興記念館由来』等の記事を掲載		41
17-006	震災	〃	冊子	H 290×W 250×D	1	『震災配布状況 協調会情報案内所』 劣化が著しい		25
17-007	震災	〃	ちらし(土地区画整理)	H 390×W 270×D	8	「土地区画整理大講演会」他 内容・日時等記載 台紙に添付 劣化が著しい		25
17-008	震災	〃	書籍(震災の記録)	H 260×W 190×D 100	2	『東京震災録』(前編・後編 東京市役所 1926年)		45
17-009	震災	〃	書籍(震災の記録)	H 260×W 190×D	8	『東京震災録』(東京市役所 1926年)	1階	54
17-010	震災	〃	書籍(震災の記録)	H 220×W 150×D	2	『大正震災志』(内務省社会局 1926年)	1階	56
17-011	震災	〃	書籍(震災の記録・復興事業)	H 220×W 150×D	9	『大正大震災の回顧と其の復興』(千葉県罹災救護会 1933年) 『東京市復興事業概要』(東京市役所 1926年) 他	1階	57
17-012	震災	〃	書籍(震災記念堂関連)	H 235×W 165×D 20	74	『被服廠跡』(東京震災記念事業協会 1932年)		46
17-013	震災	〃	小冊子(震災記念堂関連)	H 220×W 155×D	420	『被服廠跡』(東京震災記念事業協会 1932年) 17-014のダイジェスト版		48-50
17-014	震災	〃	書籍・小冊子(震災記念堂関連)	H 220×W 150×D	7	『被服廠跡』(東京震災記念事業協会 1932年) 書籍2冊 小冊子5冊	1階	58
17-015	震災	〃	書籍(地方自治体等が編纂した震災関連書籍)	H 220×W 160×D	6	『大正震災美績』(東京府 1924) 『静岡県大正震災誌』(静岡県 1924) 『大正大震災火災誌』(改造社 1924) 『関東地方震災救護誌』(大阪府 1924年) 『大正大震災火災誌』(警視庁 1925年) 『東京府大正震災誌』(東京府 1924年)	1階	56
17-016	震災	〃	書籍(復興事業関連)	H 260×W 200×D	6	『帝都復興事業誌』(復興事務局 1931年) 他	1階	52
17-017	震災	〃	書籍(土地区画整理関連)	H 270×W 200×D	6	『帝都復興区画整理誌』(東京市役所 1932年)	1階	52
17-018	震災	〃	書籍(復興事業関連)	H 270×W 200×D	4	『帝都復興事業大観』(上・下 日本統計普及協会 1930年)	1階	54
17-019	震災	〃	報告書および調書(震災に関する報告書および調書)	H 230×W 160×D	3	『飯倉青年団大震災事業報告』(1923年) 『関東大震災歿死者名簿一万年保存に就て』(1923年) 『御下賜金及内外各地方震災救援調査』(1930年)		22
17-020	震災	〃	小冊子(復興局発行の小冊子)	H 270×W 190×D 3~8	9	『復興事業ノ梗概』(1925年) 他		41
17-021	震災	〃	小冊子(東京市政調査会発行の意見書 他)	H 270×W 190×D 2~3	6	『都市教育改善に関する意見』『公益質舗に関する参考法律案』『帝都の制度に関する意見』 他		41
17-022	震災	〃	小冊子(法令集・統計書)	H 220~260×W 150~190×D	3	『震災関係法令集追録』(日本銀行調査局 1924年) 『本邦経済統計』(日本銀行調査局 1924年)		41
17-023	震災	〃	小冊子(『震災と教育』 他)	H 220×W 150×D	11	『帝都復興ノ議 後藤内務大臣提案』(1923年) 『愛国婦人会震災救護施設概要』(愛国婦人会本部 1923年) 他		41
17-024	震災	〃	書籍(震災に関する調査報告書)	H 260×W 190×D	10	『震害調査報告』(土木学会 1926年) 『震災予防調査会報告』(震災予防評議会 1926年) 他	1階	55
17-025	震災	〃	書籍(震災関連史料・義捐金関連)	H 260×W 190×D	5	『大日本地震史料』(第一巻~第三巻 文部省震災予防評議会 1943年) 『関東地方 震火災金品義捐者名簿』(愛知県 1924年)	1階	55

整理No	種別	分類	名称	寸法(約 mm)	数量	備考	元位置	ケースNo
17-026	震災	文献資料	書籍(震災の救助・研究書関連)	H 220×W 150×D	5	『大震災臨時救療誌』(済生会 1924年)『経済資料 第九巻』『経済復興に関する諸研究』(1924)『大正震災志附函』『関東震災地復旧測量記事』(陸地測量部 1928年)	1階	57
17-027	震災	〃	書籍(震災の救助)	H 220×W 160×D	5	『東京市震災衛生救療誌』(東京市衛生課 1925年)『日本赤十字社救護誌』(日本赤十字社 1925年) 他	1階	58
17-028	震災	〃	小冊子(地震研究)	H 260×W 190×D	10	『地震研究所彙報』(東京帝国大学 1931年)	1階	59
17-029	震災	〃	書籍(震災復興に関する調査報告)	H 260×W 190×D	25	『震災直後ノ市勢統計』(東京市統計課 1923年) 他	1階	59
17-030	震災	〃	書籍・雑誌(震災関連)	H 225×W 150×D	7	『都市問題』(東京市政調査会 1926年)『東京市電気局震災誌』(東京市電気局 1925年) 他	1階	59
17-031	震災	〃	書籍(地震に関する調査書)	H 260×W 190×D	6	『壁体及防火戸耐火試験報告書』(復興局建築部 1927年)『鉄道震害調査書』(鉄道省 1923年)『帝都復興院事務経過』(復興局 1924年) 他	1階	59
17-032	震災	〃	書籍(震災の記録)	H 220×W 155×D	5	『帝都大正震災記録』(警視庁消防部 1923年)『震災と本邦繊維工業』(南満州鉄道株式会社 1924)『後藤子爵記念市民賞入選論文』(東京市政調査会 1923年) 他	1階	60
17-033	震災	〃	小冊子(復興・震災関連)	H 190×W 130×D	7	『横浜市復興概要』(横浜市役所 1931年)『赤坂区震災誌』(東京赤坂区役所 1925年) 他	1階	60
17-034	震災	〃	書籍(震災研究資料・洋書)	H 220×W 150×D	2	『業務研究資料』第十一巻第八号(鉄道省大臣官房研究所 1923年) 他	1階	61
17-035	震災	〃	書籍(震災関連の物語・文集)	H 220×W 160×D	8	『東京震災記』(田山花袋 1924年 2冊)『東京大地震記』(東京黒竜会 1923年)『大震の日』(第一高等学校国漢文科 1924年)『東京大地震史』(東京書院 1923年)『大正大震災大火災』(大日本雄弁会講談社 1923年) 他	1階	58
17-036	震災	〃	書籍(震災関連の物語・文集)	H 190×W 130×D	12	『震災記念文集』(東京市学務課 1924年 7冊)『震災美談』(中島司 1924年)『十一時五十八分』(東京朝日新聞社 1930年)『大正大震災後日物語』(富文館 1923年)『産婆看護婦関東震災殉難記』(大日本看護婦協会 1930年)『樽を机として』(誠文堂 1923年)	1階	58
17-037	震災	〃	小冊子(震災関連)	H 190×W 130×D	9	『自警』(自警会 1923年)『復興と児童問題』(東京市 1924年 2冊)『地震と震災 其の原因と予防』(東京朝日新聞 1931年) 他	1階	58
17-038	震災	〃	書籍(罹災美術・随筆他)	H 220×W 160×D	8	『罹災美術品目録』(国華クラブ 1933年)『大震災と其教訓』(通俗教育普及会 1923年)『青嵐随筆』(敬文館 1924年) 他	1階	60
17-039	震災	〃	雑誌(女性雑誌)	H 220×W 150×D	12	『女性改造』『婦人公論』『婦人世界』『女性』『主婦之友』(いずれも 1923年) 他		42
17-040	震災	〃	雑誌(震災関連)	H 220×W 150×D	15	『自警』『思想』『青年』『大正大震災誌』『科学画報』『新青年』『社会政策時報』(いずれも 1923年)		42
17-041	震災	〃	雑誌(震災関連)	H 180~260×W 110~180×D	10	『ポツチャン増刊 大正大震災号』(1923年)『震災記念おとぎ歌舞伎 閻魔裁判鯨髯拔』(1924年)『文章倶楽部 凶災の印象 東京の回想』(1923年)『震災哀話』(1923年)『今後の地震 関東地震帯の研究』(1924年) 他		42
17-042	震災	〃	雑誌(震災関連)	H 180×W 260×D	3	『科学知識 震災記念号』(1924年)『関東大震災記』(東京朝日新聞社 1923年)『写真雑誌 CAMERA 大震災写真号』(1923年) 他		42
17-043	震災	〃	雑誌(震災関連)	H 240×W 160×D	8	『寸鉄』『大震災後の救世軍』『東京大震災写真帖』『女学世界』『婦人世界』『婦女界』(いずれも 1923年)『羽田町民の体験記集“関東大震災”』(1978年)	1階	60
17-044	震災	〃	雑誌(震災関連)	H 260×W 190×D	9	『関東大災害画報』『大正大震災記念建造物』『科学知識』(2冊)『実業之日本 震災復興号』(いずれも 1923年)『帝都復興美観』(1930年)	1階	60
17-045	震災	〃	グラビア雑誌	H 400×W 275×D	14	『大正大震災誌』(報知新聞社編集局 1923年)『大震災写真画報』(第三号 1923年)	1階	61
17-046	震災	〃	書籍(震災関連の洋書)	H 220×W 150×D 75	7	『The Great Earthquake of 1923 in Japan; Bureau of Social Affairs Home Office Japan』(1926年 7冊)		45

東京都慰霊堂保管資料の整理と分類方法

整理No	種別	分類	名称	寸法(約 mm)	数量	備考	元位置	ケースNo
17-047	震災	文献資料	書籍(震災関連の洋書)	H 315×W 220×D 55	1	『The Reconstruction of Tokyo; Tokyo Municipal Office.』(1933年)		45
17-048	震災	〃	書籍(震災関連の洋書)	H 220×W 160×D	16	『Companion Map and diagrams to the Great Earthquake of 1923 in Japan』(Compiled by the Bureau of Social Affairs Home Office Japan 1926年)	1階	53
17-049	震災	〃	書籍(震災関連の洋書)	H 220×W 160×D	8	『The Great Earthquake of 1923 in Japan; Bureau of Social Affairs Home Office Japan』(1926年)	1階	53
17-050	震災	〃	書籍(震災関連の洋書)	H 260×W 180×D	6	『OUR WORLD JAPAN NUMBER』(1924年2冊)『The American City』(1927年)『アメリカンアーキテクト』(記事スクラップ)『The Condensed Report of The Society for Emergency Work of the Great Earthquake』(1927年)	1階	57
17-051	震災	〃	地震の記録資料	H 240×W 720×D	4	各地験潮場の潮候曲線を記したグラフ		41
17-052	震災	〃	地図帳(東京市内各地の地図)	H 315×W 450×D	1	『東京市各区域地図』(内山模型製図社 約20枚)		25
17-053	震災	〃	図表集(復興関連の図表)	H 450×W 305×D	1	『東京市勢図表』(東京市 1935年)	1階	61
17-054	震災	〃	図表(震災の火災被害状況)	H 770×W 1100×D	1	「帝都大震災火災系統地図」		25
17-055	震災	〃	図表(横浜の区画整理他)	H 800 640×W 650 400×D	2	「横浜土地区画整理施行地区分割図」「深川消防署管内全域」		25
17-056	震災	〃	図表(地盤変動)	H 630 400×W 770 600×D	4	「地盤垂直変動一覧図」「一等水準検測成果一覧図」他		41
17-057	震災	〃	地図(震災の火災被害状況)	H 800× W 535×D	1	「大正十二年九月東京火災動態地図」		42
17-058	震災	〃	図面類(区画整理関連)	H 109×W 2000×D	2	「四拾四地区群割及換地関係図」		212
17-059	震災	〃	図表写真	H 300×W 210×D	50(約)	展示用図表類		21
17-060	震災	〃	図表類(統計表)	H 700×W 1060×D	13	展示用図表類		217
17-061	震災	〃	図表類	H 755×W 1500×D	28	展示用図表類		218
17-062	震災	〃	図表類	H 1490×W 1200×D	15(約)	展示用図表類		219
17-063	震災	〃	図表類(災害犠牲死者分布図他)	H 1350×W 1150×D	10(約)	展示用図表類		225
17-064	震災	〃	展示パネル	H 770×W 570×D	2	展示用図表類 台紙に添付		236
17-065	震災	〃	図表類(復興関連)	H 1050×W 1500×D	20(約)	「復興市立小学校一覧図」他		220 ①②
17-066	震災	〃	図表類(復興都市計画関連)	H 1575×W 1270×D	33	展示用図表類 木枠(ガラス入り)		1-33
17-067	震災	〃	図表パネル	H 495×W 800×D	1	展示用図表類 木枠(ガラス入り)を8点セットにしたもの		227 228
17-068	震災	〃	図表類(復興都市計画関連)	H 2100×W 2100×D	3	展示用図表類		224
17-069	震災	〃	図表類(復興都市計画関連)	H 1900×W 1490×D	8	展示用図表類		223
17-070	震災	〃	図表類(復興都市計画関連)	H 1400×W 1100×D	5	展示用図表類		226
19-001	震災	その他	小冊子(地震学関連)	H 210×W 150×D	150	『地震』(東京帝国大学理学部地球物理学教室内地震学会 1932~1942年)		51
19-002	震災	〃	小冊子(地震学関連)	H 210×W 150×D	43	『地震』(東京帝国大学理学部地球物理学教室内地震学会 1934~1939年) 紐で10数冊ずつ綴じてある	1階	59
19-003	震災	〃	書籍(安政地震関連)	H 260×W 180×D	2	『安政江戸地震災害誌』(上・下巻 東京都総務局行政部 1973年)	1階	60
19-004	震災	〃	図表(安政地震関連)	H 440×W 370×D	3	「安政二年ノ地震火事」「文化三年ノ地震火事」「寛政六年ノ地震火事」		25
19-005	震災	〃	新聞・雑誌記事(コピー)	H 300×W 210×D	10	地震に関する記事(新聞・雑誌)のコピー 『諸君』(1973年10月号)等	1階	61
19-006	震災	〃	写真(外国の都市風景)	H 450×W 560×D	15(約)	大判写真		18
19-007	震災	〃	木製台	H 120×W 480×D 460	1	木製の台 「震災記念」と記載		208
21-001	戦災	生活	衣類	H 500×W 700×D	6	洋服等 戦時中の国民服 保存状態が悪い	1階	83
21-002	戦災	〃	衣類	H 160×W 800×D	3	着物の帯等 保存状態が悪い	1階	83

整理No	種別	分類	名称	寸法(約 mm)	数量	備考	元位置	ケースNo
21-003	戦災	生活	鞆・リュックサック 他	H 470×W 330×D	8	保存状態が悪い	1階	84
21-004	戦災	〃	通帳類	H 170×W 90×D	1000(約)	「積立郵便貯金通帳」(1947年5月～12月)の記載あり 保存状態が悪い		26 27 28
21-005	戦災	〃	通帳類	H 150×W 100×D	200(約)	「定期積金通帳」「年利貯金通帳」「普通貯金通帳」 他		26 27 28
21-006	戦災	〃	債権	H 380～180×W 340～130×D	300(約)	各種国債 「戦時貯蓄債券」 他		26 27 28
21-007	戦災	〃	領収書	H 190×W 80×D	150(約)	「保険料領収帳」		26 27 28
21-008	戦災	〃	保険証書 他	H 220×W 110×D	70(約)	「保険証書」「保険料領収帳」	1階	67
21-009	戦災	〃	身分証明書・紙幣 他	H 180×W 100×D	7(約)	身分証明書, 紙幣, 領収書等		28
21-010	戦災	〃	手帳類	H 125×W 85×D	6	「軍隊手帳」「補充兵手帳」「職業能力申告手帳」等		29
21-011	戦災	〃	手帳	H 135×W 80×D	12	「体力手帳」「軍隊手帳」「青年訓練手帳」	1階	67
21-012	戦災	〃	財布類	H 105～150×W 115～200×D	5	財布, 定期券入れ, 名刺入れ等(革製4点 布製2点)		29
21-013	戦災	〃	名札	H 130×W 65×D	16	紙や木の札に名前・住所を記載したもの	1階	67
21-014	戦災	〃	葉書	H 140×W 90×D	4	1944年の消印あり	1階	67
21-015	戦災	〃	名刺	H 85×W 47×D	30(約)	「東京都地方木材株式会社 集荷部 御料官材課 官材係長」の名刺	1階	67
21-016	戦災	〃	給料袋	H 160×W 110×D	5	「横浜重工業株式会社」の給料袋(1943年)	1階	67
21-017	戦災	〃	写真(兵士の記念写真)	H 110×W 155×D	4	戦時中に兵士の記念写真 写真裏に「美原記念昭和十七年五月八日 於 比律賓島」と記載あり	1階	67
22-001	戦災	仕事	銃・砲弾の一部 他	H 150×W 280×D	4	銃(2点)・砲弾(一部)・銃剣 さびによる腐食あり 破損あり	1階	103
22-002	戦災	〃	ヘルメット・サーベル・軍人手帳・勲章	H 125×φ280×D	10	勲章に「在郷軍人章」の記載あり さびによる腐食あり 破損あり	1階	111
22-003	戦災	〃	ヘルメット	H 140×φ280×D	7	鉄製 さびによる腐食あり		180
22-004	戦災	〃	ガスマスク	H 170～180×φ105～115×D	7	筒型のケース付き 氏名等が記載		181
23-001	戦災	産業	弾丸(箱入り)	H 75×W 75×D	1	木箱に入った弾丸 箱裏に「太平洋戦争記念」等と記載	1階	67
23-002	戦災	〃	砲弾	H 100～220×φ35～70×D	3	さびによる腐食が著しい		180
25-001	戦災	救援復興	ポスター(「連合防空演習」)	H 760×W 540×D	1	保存状態は良好		14
25-002	戦災	〃	旗	H 200～880×W 680～1260×D	4	布製 「宮内省」「巡回救療班 第一」と記載	1階	84
25-003	戦災	〃	注射器	H 200～400×W 20～30×D	6	金属製ケースに入った注射器セット ヘルメット類と同じ箱に収納 戦時中もしくは復興記念館が日赤両国診療所であった時のものか		181
26-001	戦災	記録作品	写真(人物)	H 130～70×W 170～100×D	20(約)	個人写真・団体記念写真等		14
26-002	戦災	〃	写真(戦災の被害)	H 455×W 560×D	20(約)	戦災後の街の様子の大判写真		20
26-003	戦災	〃	写真(戦災の様子)	H 455×W 560×D	20(約)	戦災後の街の様子の大判写真 紙のケースに収納 保存状態は良好		20
26-004	戦災	〃	写真パネル(戦災の被害)	H 350×W 425×D	4	戦災後の被害写真	1階	67
26-005	戦災	〃	写真(戦後の街並み 他)	H 420×W 550×D	30(約)	戦時・戦後の街並みや生活の写真		234
26-006	戦災	〃	写真パネル	H 350×W 430×D	12	焼跡となった東京の航空写真		231
26-007	戦災	〃	写真パネル	H 450×W 550×D	4	焼跡の復興の様子の写真		232
26-008	戦災	〃	ポストカード	H 410×W 320×D	1	「戦災記念絵葉書」「1組 ¥100」の記載あり(復興記念館で販売されたものか) 戦災直後の街の様子を撮影した写真ポストカード 6枚を1枚の台紙に添付		14
26-009	戦災	〃	写真パネル(戦災後の被害・生活)	H 350×W 430×D	12	当初, 震災に分類		231
26-010	戦災	〃	写真パネル(戦災後の被害・生活)	H 350×W 430×D	12	当初, 震災に分類		231
27-001	戦災	文献資料	小冊子(大陸情報関連)	H 210×W 150×D	7	『支那時報』『科学の台湾』(3冊)『興亜問題を語る』『満洲と日本』 他		26

東京都慰霊堂保管資料の整理と分類方法

整理No	種別	分類	名称	寸法(約 mm)	数量	備考	元位置	ケースNo
27-002	戦災	文献資料	展示パネル(戦災復興関連)	H 730×W 1030×D	9	「浅草寺の戦災と復興」他		98-106
29-001	戦災	その他	新聞(朝鮮戦争関連)	H 550×W 420×D	20(約)			14
29-002	戦災	〃	手拭い	H 340×W 900×D	2	震災・戦災の様子を描いた手拭 吉野彌太郎氏作成 日付記載(「昭和五十二年三月十日」)	1階	119
37-001	その他	記念堂関連資料	祝辞・式辞(震災記念堂関連)	H 230×W 90×D	30(約)	震災記念堂落成式の祝辞・式辞類 浜口雄幸(内閣総理大臣) 安達謙蔵(内務大臣) 永田秀次郎(東京市長)等		21
37-002	その他	〃	写真(梵鐘始撞式典の様子)	H 200×W 240×D	14			
37-003	その他	〃	写真(震災記念堂関連 その1)	H 170×W 210×D	4	「被服廠跡 仮納骨堂前ニ於ケル佛式法要」震災後、仮納骨堂での法要の様子 台紙に添付		21
37-004	その他	〃	写真アルバム(震災記念堂関連 その2)	H 320×W 210×D	31	アルバム1冊 約30枚の写真添付		21
37-005	その他	〃	絵はがき(震災記念堂関連)	H 420×W 530×D	1	震災記念堂、復興記念館、震災の被害状況の絵はがき 台紙に写真10枚添付 「エハガキ一組金五拾銭」と記載あり 復興記念館で販売)		21
37-006	その他	〃	写真ネガ(震災記念堂関連)	H 125×W 170×D 2	100(約)	慰霊法要、復興記念館の写真ガラス原板 箱に1枚ずつ紙に挟み込んで収納		15
37-007	その他	〃	写真パネル(震災記念堂関連)	H 400×W 600×D 200	1	震災記念堂周辺の航空写真 木製台つき		229
37-008	その他	〃	小冊子(震災記念堂関連)	H 185×W 145×D 3~4	7	『大正大震災記念建造物協議設計図録』設計コンペに関する図録		41
37-009	その他	〃	小冊子(震災記念堂関連)	H 150×W 225×D 1~2	6	『震災記念堂図集』		41
37-010	その他	〃	印刷物(震災記念堂関連)	H 195×W 265×D	240(約)	『震災記念堂』(震災記念堂案内パンフレット)		41
37-011	その他	〃	印刷物(震災記念堂関連)	H 230×W 160×D	5	『震災記念堂 弔霊鐘 由来』(震災記念堂・弔霊鐘の建設趣旨、概要を記載 英語版あり)		41
37-012	その他	〃	設計図(復興記念館)	H 800×W 1080×D	70(約)	復興記念館の設計図 封筒に収納		40
37-013	その他	〃	設計図(復興記念館陳列戸棚 他)	H 530×W 750×D	100(約)	復興記念館の設計図 筒状		210
37-014	その他	〃	図面類(震災記念堂関連)	H 500×W 650×D	10(約)	復興記念館関係の備品の図面		214
37-015	その他	〃	図面類(震災記念堂関連)	H 700×W 970×D	38	震災記念堂設計案		216
37-016	その他	〃	地層の標本	H 60×W 790×D 230	1	木箱入り ふた裏に「東京震災記念塔建設敷地試錐地質標本」と記載		187
37-017	その他	〃	案内板	H 1300×W 750×D	1	復興記念館案内		111
37-018	その他	〃	入場券(「復興記念館観覧券」)	H 340×W 55×D 230	26	3種類(大人、小人、軍人割引券 1束は観覧券1000枚分 入場料 大人10銭 子供5銭)		29
37-019	その他	〃	スタンプ	H 100×φ30×D 230	4	復興記念館のスタンプ(「割引」「東京市公園」)		29
37-020	その他	〃	名簿	H 240×W 270×D 50~80	46	『会員名簿』(東京震災記念事業協会の名簿 入会者名、住所、寄贈金額等を記入したしおり状のカードを添付したもの 名簿に添付されていないカードはケース1に収納)		1-8
37-021	その他	〃	書類(復興関係 他)	H 250×W 170×D 20~50	4	復興関係書類 『震災記念物品受付台帳』『復興展覧会出品物保管台帳』『復興関係書類』『参考品(図書類を除く)目録 通信博物館』		22
37-022	その他	〃	書類綴	H 160×W 100×D 10~100	10(約)	『記念章配達証明綴』『振替貯金受払通知』		29
37-023	その他	〃	書類綴(寄付金関連)	H 270×W 200×D 10~25	22	『寄付金台帳』		30
37-024	その他	〃	書類綴(寄付金関連)	H 270×W 190×D 10~20	30	『仏教連合会取扱寄附台帳』		31 32
37-025	その他	〃	書類綴(死亡者調査)	H 270×W 190×D 10~20	14	『震災死亡者調査』(本籍・氏名・死亡場所・年齢など記載)		33
37-026	その他	〃	書類綴(復興記念館関連)	H 270×W 190×D 5~35	46	復興記念館関係書類 「記念物品絵画記録簿」「団体申込綴」「備品関係書類」「寄附名簿」他		34
37-027	その他	〃	書類綴(収支調書 他)	H 300×W 240×D 10	54	「収支調書」「警視庁関係書類」他 封筒に収納		36
37-028	その他	〃	書類綴(収支調書 他)	H 350×W 250×D	37	「収支調書」「支部収入計算簿」「現在資金調書」他 封筒に収納		37
37-029	その他	〃	書類綴(収支調書 他)	H 300×W 250×D 10~20	43	「収支調書」封筒に収納		38 39
37-030	その他	〃	帳簿(予算関連)	H 370×W 260×D	6	「予算差引簿」		43
37-031	その他	〃	台帳(寄附金関連)	H 340×W 235×D	1	「東京震災記念納骨堂寄附金台帳 仏教連合会本部」途中まで記入		43

整理No	種別	分類	名称	寸法(約 mm)	数量	備考	元位置	ケースNo
37-032	その他	記念堂 関連資料	帳簿(振替関連)	H 275×345×W 220×230 ×D	2	「振替整理簿」「振替貯金計算簿」		43
37-033	その他	〃	帳簿(歳入関連)	H 340×W 230×D	5	「歳入内訳簿」		44
37-034	その他	〃	帳簿(収支金関連)	H 265×W 190×D	4	「収入金整理簿」(1927年11-12月)		44
37-035	その他	〃	帳簿(収支関連)	H 345×W 230×D	3	「出納簿」		44
37-036	その他	〃	帳簿(入場券)	H 265×W 190×D	3	「入場券整理簿」(復興記念館入場券)		44
37-037	その他	〃	帳簿(備品・消耗品)	H 275×W 210×D	1	「備品・消耗品整理簿」		44
37-038	その他	〃	帳簿(陳列品関連)	H 370×W 270×D 25	2	「陳列品整理簿」 復興記念館の陳列品整理簿 東京市民局 未記入		43
37-039	その他	〃	書類綴(陳列品関連)	H 270×W 190×D 10~40	36	復興記念館収蔵物の物品台帳 「工作用品類」 「図表類」「模型類」「家事用品類」 他		35
37-040	その他	〃	展示品整理カード	H 75×W 130×D	10	復興記念館の展示品整理カード 1束約800枚 名称・説明等が記載		201
39-001	その他	その他	雑誌(博物館関連)	H 90~270×W 125~195× D	20(約)	『東京の博物館』(1936年1冊)『博物館研究』 (1933年19冊)		42
39-002	その他	〃	小冊子(復興公園案内)	H 230×W 310×D	8(約)	各種公園関連資料 東京市役所作成 市内各地 の公園案内および平面図		8
39-003	その他	〃	小冊子(復興公園関連)	H 220×W 150×D	240(約)	『公園六十年』(公園制度60年を記念して刊行 された冊子)		51
39-004	その他	〃	小冊子(復興公園関連)	H 220×W 150×D	150	『東京市 公園概況』(公園制度60年を記念して 刊行された冊子 1932年)		51
39-005	その他	〃	小冊子(復興公園関連)	H 235×W 160×D	19	各地の公園案内パンフレット	1階	61
39-006	その他	〃	設計図(橋梁関連)	H 390×W 495×D	50(約)	「清洲橋工事機械記録」		211
39-007	その他	〃	図面・調書(乃木邸関連)	H 500×W 760×D	2	図面「乃木邸本館透視図」 調書「旧乃木邸実 測調書」		251
39-008	その他	〃	図面類(乃木邸関連)	H 500×W 760×D	55(約)	乃木邸関連図面類 巻物状に保存		215
39-009	その他	〃	地層の標本	H 1100×φ110×D	1	ガラスの円柱状の容器内に地層の標本入り		188
39-010	その他	〃	カタログ(震災記念堂関 連)	H 300×W 220×D 20~60	4	ロールスクリーン、通風日除、模型	1階	42
39-011	その他	〃	木製箱	H 900×W 1660×D 300	1	中央に金属棒あり 用途不明	1階	238
39-012	その他	〃	金属板	H 260×W 700×D 100	1	機械の一部 用途不明		237

表3 東京都慰霊堂収蔵資料 マイクロフィルム・デジタルデータ化資料リスト (50音順)

1. 震災関係書籍・雑誌類(ケースNo. 42 整理No. 16-026, 17-039~042)

※復興記念館で紙焼き冊子閲覧可能

No	名称	発行	年	月	種別	備考
1	科学画報 大震災号 第一巻第七号	新光社	1923	10	雑誌	
2	科学知識 震災記念号	科学知識普及会	1924	9	雑誌	
3	関東大震災記	東京朝日新聞社			書籍	
4	関東大震災資料				書籍	
5	九月一日 この日を思へ	東京市役所	1933	4	書籍	
6	現代 第四巻第十一号	大日本雄弁会	1923	11	雑誌	
7	今後の地震 関東地震地帯の研究	国民新聞自身予防調査隊主任 中村左衛 門太郎 民友社	1924	9	書籍	
8	自警 第五巻第五十号	自警会	1923	10	雑誌	
9	自警 第六巻第五十九号	自警会	1924	7	雑誌	
10	思想 第二十五号	岩波書店	1923	11	雑誌	
11	実業之日本 大災突破号 第二十六巻第二十一号	実業之日本社	1923	12	雑誌	
12	主婦之友 十月号 東京大震災火災画報	主婦之友社	1923	10	雑誌	
13	主婦之友 震災後日物語号	主婦之友社	1923	11	雑誌	
14	社会政策時報 震災号 第三十八号		1923	11	雑誌	
15	写真雑誌 CAMERA 大震災写真号(目次)	アルス	1923	10	雑誌	
16	女性 第四巻第四号	プラトン社	1923	10	雑誌	
17	女性 第四巻第五号	プラトン社	1923	11	雑誌	

18	女性改造 大震災記念号 第二巻第十号	改造社	1923	10	雑誌	
19	震災哀話	榎本松之助 榎本書房	1923	11	書籍	
20	震災歿死者及び文化を追悼す 復興即供養	自彊会	1924	9	書籍	
21	震災記念おとぎ歌舞伎 閻魔裁判鯉髯拔	巖谷小波 読売新聞社	1924	9	書籍	
22	震災記念館陳列品説明書	横浜市震災記念館			書籍	
23	震災後に於ける 児童保護事業概況 其二 No.2	東京市社会局	1924	3	書籍	
24	震災の思ひ出	宮音松	1927	6	書籍	
25	震災の思ひ出	東京市役所	1940	9	書籍	
26	新青年 大震災記念号 第四巻第十二号	博文館	1923	9	雑誌	
27	新青年 帝都復興号 第四巻第十三号	博文館	1923	11	雑誌	
28	青年 大震災号 第八巻第十号	日本青年館	1923	10	雑誌	
29	大正大震災の思ひ出	東京市役所	1941	9	書籍	
30	庭園と風景 テラコッタ号 第十一巻第四号	日本庭園協会			雑誌	
31	帝都復興叢書 大詔を拝して 第一輯	東京市	1923	12	書籍	永田秀次郎述 穂積重遠述
32	東京の博物館				雑誌	
33	博物館研究		1933 -35		雑誌	1933年7~11月, 1934年1~5月, 7~8月, 10~12月, 1935年1~5月
34	婦女界 関東大震災写真実記	婦女界社	1923	10	雑誌	
35	婦人画報 大震災画報 第二百十六号	東京社	1923	10	雑誌	
36	婦人倶楽部 第四巻第十一号	大日本雄弁会	1923	11	雑誌	
37	婦人公論 秋季特別号 自然の逆号 第八巻第十一号	中央論社	1923	10	雑誌	
38	婦人公論 女流懇話会号 第八巻第十二号	中央論社	1923	11	雑誌	
39	婦人世界 十一月増大号 災厄に処する女性 第十八巻第十一号	実業之日本社	1923	11	雑誌	
40	婦人世界 大震災写真画報 第十八巻第十号	実業之日本社	1923	10	雑誌	表紙に名刺添付(高橋音次郎)
41	文章倶楽部 凶災の印象 東京の回想 改訂版第八年十号	新潮社	1923	10	雑誌	
42	ポッチャン増刊 大正大震災号 第六巻第四号	一星社	1923	10	雑誌	
43	世の妻に	小島八郎	1927	12	書籍	

2. 被害関連資料(2009年まで復興記念館展示物)

No	名称	発行	年	月	備考	備考
1	案内所報 自大正十二年九月七日 至全年全月十七日	協定会情報案内所	1923		調査報告	
2	家屋新築及修理に関する耐震構造上の注意書	震災予防評議会	1923		調査報告	
3	乙班 外務省情報綴	東京博物館	1923		調査報告	
4	乙班 参考資料蒐集綴	東京博物館	1923		調査報告	
5	乙班 東京府情報綴	東京博物館	1923		調査報告	
6	乙班 統計綴	東京博物館	1923		調査報告	
7	火災を起し易き薬品の格納法に関する注意書		1923		冊子	
8	災害情報 自乙第一号 至乙第四五号	東京市統計課	1923		調査報告	
9	災害情報 自乙第一号 至甲第一〇〇号	東京市統計課	1923		調査報告	
10	災害情報 自甲第一〇一号 至甲一六七号	東京市統計課	1923		調査報告	
11	災害日誌	日本橋区役所	1923		調査報告	
12	震火災と法律問題 附 震火災関係諸法令	清水書店	1923		冊子	
13	震災日誌 大正十三年九月起	東京市神田区役所	1923		調査報告	
14	震災に依る被害工場事情 第三報	協定会情報部	1923		調査報告	
15	震災に依る被害工場事情 第四報 秘	協定会情報部	1923		調査報告	
16	大震災と水問題 増補 附 帝都復興計画と鑿泉私見		1923		冊子	
17	東京市震災後ノ復旧状況	東京市役所統計課	1923		調査報告	
18	東京市震災後ノ復旧状況(続) 第二一号	東京市役所統計課	1923		調査報告	
19	東京市ノ状況 東京市復興概要 第三八号	東京市役所統計課	1923		調査報告	
20	東京市ノ状況 東京市ノ復旧概要 第五六号	東京市役所統計課	1923		調査報告	
21	東京市ノ状況 統計ヨリ見タル東京市ノ復興概況 第八二号	東京市役所統計課	1923		調査報告	
22	木造小学校建築耐震上ノ注意	震災予防評議会	1923		冊子	

23	臨時震災救護事務局囑託協議会報告書		1923		調査報告	
----	-------------------	--	------	--	------	--

3. 教育関連資料（2009年まで復興記念館展示物）

No	名 称	発 行	年	月	備 考	備 考
1	思ひ出 六女		1923		文 集	
2	九月一日の思ひ出		1923		文 集	
3	国民科 教授資料1 震災ニ関スルコト		1923		教育資料	
4	国民科 教授資料2 救護ニ関スルコト		1923		教育資料	
5	国民科 教授資料3 復興事業		1923		教育資料	
6	国民科 教授資料4 復興ニ関スルコト		1923		教育資料	
7	国民科 教授資料 戒厳ニ関スルコト		1923		教育資料	
8	国民科 教授資料 社会一般 評論之部		1923		教育資料	
9	国民科 教授資料 震災写真		1923		教育資料	
10	国民科 教授資料 大震大火災ノ生シタ美談哀話		1923		教育資料	
11	国民科 教授資料 復興ニ関スルコト		1923		教育資料	
12	国民科 教授資料 分類		1923		教育資料	
13	国民科 教授資料 大震災諸相ニ対シテ 厳正ナル批判 政治的 道德的 哲学的		1923		教育資料	
14	在学証明書	東京市明治尋常小学校	1923		証明書	
15	三学年	東京市立横川尋常小学校	1923		文 集	
16	下谷区小学校職員罹災調 御真影奉遷調査	下谷区市立小学校長会	1923		調査報告	
17	下谷区内（避難ノ本区児童 バラック居住児童 他区ヨリ避難児 童 収容児童）調査	下谷区市立小学校長会	1923		調査報告	
18	児童調査簿	京橋高等小学校	1923		調査報告	
19	震災直後の児童学席簿	東京市文海尋常小学校	1923		名 簿	
20	出席簿		1923		名 簿	
21	大震災遭難記 第一学年男一組	東京市立京橋尋常小学校	1923		文 集	
22	大震災遭難記 第一学年女一組	東京市立京橋尋常小学校	1923		文 集	
23	大震災遭難記 第二学年男一組	東京市立京橋尋常小学校	1923		文 集	
24	大震災遭難記 第二学年女一組	東京市立京橋尋常小学校	1923		文 集	
25	大震災遭難記 普通科第一学年	東京市立京橋尋常小学校	1923		文 集	
26	大震災遭難記 普通科第二学年	東京市立京橋尋常小学校	1923		文 集	
27	大震災遭難記 専攻科第一学年	東京市立京橋尋常小学校	1923		文 集	
28	大震災遭難記 専攻科第二学年	東京市立京橋尋常小学校	1923		文 集	
29	帝都復興ニ伴フ 学校配置意見 校舎建築ニ関スル希望	下谷区市立小学校長会	1923		冊 子	
30	当時ノ教育情况	錦華尋常小学校	1923		調査報告	
31	当番日誌	緑尋常小学校	1923		日 誌	
32	努力週間日記 男子第二学年	東京市立京橋尋常小学校	1923		日 記	
33	努力週間日記 女子第二学年	東京市立京橋尋常小学校	1923		日 記	
34	努力週間	東京市京橋高等小学校	1923		日 記	
35	日誌 自大正十二年九月五日 至全年十月廿八日	下谷区市立小学校長会	1923		日 誌	
36	日誌 大正十二年度 九月以降	柳島尋常小学校	1923		日 誌	
37	日誌 大正十二年十一月一日起	緑尋常小学校	1923		日 誌	
38	日誌 大正十二年十二月十五日起	緑尋常小学校	1923		日 誌	
39	日誌 大正十三年二月二十六日起	緑尋常小学校	1923		日 誌	
40	復活への犠牲 ふたばのかたみ	東京市二葉尋常小学校	1923		文 集	
41	奉仕者出勤簿 大正十二年九月十二日起	下谷区市立小学校長会	1923		名 簿	
42	我校教育の復興	東京市月島第二尋常小学校	1923		文 集	